

目 次

1 令和3年度朝日自然塾プログラムの実施結果について	1
2 令和4年度朝日自然塾プログラムの策定について	6

<別紙>

○ 別紙1-1 令和3年度朝日自然塾プログラム.....	8
○ 別紙1-2 令和4年度朝日自然塾プログラム.....	9
○ 別紙2 準備段階のチェック表、イベント安全確認チェック表【下見等】.....	10
○ 別紙3 カッチャバ湿原【開催告知】.....	14
○ 別紙4 カッチャバ湿原【事前案内・タイムスケジュール・当日資料】.....	17
○ 別紙5 カッチャバ湿原【アンケート結果・HP掲載資料】.....	28
○ 別紙6 みんなで歩こうタキタロウへの道【タイムスケジュール】.....	31
○ 別紙7 みんなで歩こうタキタロウへの道【配置表・HP掲載資料】.....	33
○ 別紙8 プロが教えるイワナ釣り【開催告知】.....	36
○ 別紙9 プロが教えるイワナ釣り【事前案内・タイムスケジュール・当日資料】.....	40
○ 別紙10 プロが教えるイワナ釣り【アンケート結果・HP掲載資料】.....	64
○ 別紙11 めのう&かんじき【開催告知】.....	67
○ 別紙12 めのう&かんじき【事前案内・タイムスケジュール・当日資料】.....	69
○ 別紙13 めのう&かんじき【アンケート結果・HP掲載資料】.....	111

<別添>

○ 別添1 朝日自然塾 みんなで歩こうタキタロウへの道.....	115
○ 別添2 「森林整備の事前学習」 あさひ小学校5年生.....	122
○ 別添3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート.....	130
【カッチャバ湿原】【みんなで歩こうタキタロウへの道】【プロが教えるイワナ釣り】【めのう&かんじき】	
○ 別添4 朝日自然塾 実施プログラム 参加者集計表【H18～R3(現時点)】.....	134

1 令和3年度朝日自然塾プログラムの実施結果について

(1) 募集方法

- ① 年間計画（別紙1-1）
- ② 開催告知（各プログラム毎に作成）（別紙3及び8）
- ③ 朝日庄内森林生態系保全センターホームページの開催告知（別紙3及び8）

(2) 令和3年度の実施状況

① 実施したプログラム

ⅰ カッチャバ湿原のトンボ観察&大井沢で一日昆虫博士(N01)

開催日	令和3年6月19日（土）実施
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	6組15人
講師・スタッフ	講師 秋山宏幸氏
取組状況	5月28日 募集開始（学校関係、新聞社及びHP）。 6月10日 事前確認（下見）を行った。 6月19日 参加者6組15名で実施した。 新型コロナウイルス感染症対策として、参加者全員の体調を「新型コロナウイルス感染症拡大のためのチェックシート(別添3)」により確認した。
チラシ配布先	○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校（各教育委員会に管内小学校への配布を依頼） ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者（リピーター）

ⅱ 参加者への事前案内（別紙4）

ⅲ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表（別紙4）

ⅳ 新型コロナウイルス感染症チェック表（別添3）

ⅴ 実施結果ホームページ掲載（別紙5）

ⅵ 参加者アンケート

アンケートの集計結果は別紙5のとおり

ⅶ 講師・スタッフの意見

- ・子供の関心を高めるために、多様な生き物に触れる時間を設ける。

ii みんなで歩こうタキタロウへの道(N02)

開催日	令和3年7月8日(木)実施
開催場所等	鶴岡市 泡滝ダム～大鳥池
参加者	鶴岡市立あさひ小学校5年生児童23名、教職員等6名
講師・スタッフ	(出羽三山を守る会) (山形県山岳連盟) 長南 厚・佐久間憲 生・加藤史子・佐藤 淳・高橋宣裕 菅原和明・難波 賢一・渡部美 智・田辺孝一 庄内森林管理署3名 朝日センター3名 合計13名
取組状況	令和3年7月8日(木)実施 *あさひ小学校では、本大鳥池登山と大鳥地区の森林生態系保護地域で行う森林整備活動とを併せて「大鳥自然教室」と称し、森林環境教育として一体のものと捉え、1泊2日にて実施している。 5月27日 あさひ小学校担当者(教頭先生)と電話にて打ち合わせを行った。 6月15日 大鳥登山のルートについて、事前確認(下見)を行った。 6月21日 あさひ小学校担当者と大鳥池登山と森林整備活動について、事前打ち合わせを行った。 6月23日 大鳥池登山と森林整備活動について、対象のあさひ小学校5年生に対し事前学習を行った。大鳥池登山では、大鳥池の自然環境、タキタロウ伝説、登山の留意点を話をした(別添1)。併せて、森林整備活動について、日本(鶴岡市)の森林、森林の働き、森林の整備等の話をした(別添2)。 6月29日 大鳥登山のルートについて、あさひ小学校担当者(校長先生及び担任)と共に、事前確認(下見)を行った。 7月6日 大鳥登山のルートについて、最終確認及び資材搬入を行った。 7月8日 あさひ小学校5年生児童23名、教職員等6名、スタッフ13名計42名で実施。 新型コロナウイルス感染症対策として、参加者全員の体調を「新型コロナウイルス感染症拡大のためのチェックシート(別添3)」により確認した。あさひ小学校では、2台のバスを借り上げ、移動中の密を回避した。 長南氏より子供の登山に当たっての留意事項等をいただいた。
チラシ配布先	—

ア 参加者への事前案内(学校行事のため該当しない)

イ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表(別紙6)

ウ 新型コロナウイルス感染症チェック表(別添3)

エ 実施結果ホームページ掲載(別紙7)

オ 参加者感想(提出なし)

カ 講師・スタッフの意見

- ・例年下山まで時間のかかる児童が出るので、行動時間等は余裕を持って実施すること。
- ・登山時の装備、服装等については、事前学習時にも学校に伝えること。
- ・出発時間については、令和3年度と同じ時間に設定する。

iii プロが教えるイワナ釣り (N03)

開催日	令和3年7月22日(木・祝)実施
開催場所	鶴岡市大鳥 東大鳥川・タキタロウ館
参加者	募集人員20名(予定) 参加者10組25名
講師・スタッフ	講師 スタッフ 鈴木正(山形県溪流釣り協議会) 長岡博志(山形県溪流釣り協議会) 渡辺和春(山形県溪流釣り協議会) 齋藤徹(山形県溪流釣り協議会) 長岡博志(山形県溪流釣り協議会) 長南均(鶴岡市朝日庁舎) 斉藤友香(鶴岡市朝日庁舎) 斎藤康介(鶴岡市朝日庁舎) 庄内森林管理署 6名 朝日センター 3名 合計17名
取組状況	○6月28日 各教育委員会等にチラシを配布及び朝日庄内森林管理局朝日庄内森林生態系保全センターHPに参加者募集を掲載。 ○7月2日 応募者多数につき募集終了をホームページへ掲載。 ○7月17日 講師とセンター職員で、タキタロウ館・東大鳥川において打ち合わせと事前踏査を行った。 ○7月22日(木・祝)現地集合にて参加者25名、講師スタッフ17名、合計42名により実施。 例年は鶴岡市朝日庁舎より送迎バスの提供を受けていたが、今年度も2年度同様に、新型コロナウイルス感染症のリスク軽減のため、現地集合で開催した。 暑さ対策について、次回の検討項目とする。 新型コロナ感染症対策として、参加者全員の体調を「新型コロナウイルス感染症拡大のためのチェックシート(別添3)」により確認した。
チラシ(別紙8)配布	配布先 ○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校(各教育委員会に管内小学校への配布を依頼) ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者(リピーター) 配布日 6月28日 6月28日に募集開始、7月2日には募集終了。

7 参加者への事前案内(別紙9)

イ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表(別紙9)

ウ 安全確認チェック表(添付なし)

エ 新型コロナウイルス感染症チェック表(別添3)

オ 実施結果ホームページ掲載(別紙10)

カ 参加者アンケート

アンケートの集計結果は別紙10のとおり

キ 講師・スタッフの意見

- ・荒天時の撤収体制の確認ー 雷発生・増水を予測し早期撤収等

Ⅴ かんじきトレッキング&めのうアクセサリづくり(N05)

開催日	令和3年3月6日(土)開催 *参考として令和2年度分を記載
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	参加者6組14名
講師・スタッフ	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 西川町大井沢区 西川町役場 東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター
取組状況	令和3年2月9日 博物館関係者と打ち合わせ 令和3年2月17日 スノーモービル関係者へ圧雪作業のお知らせ 令和3年2月26日 博物館関係者と打ち合わせ 令和3年3月1日 保険関係の手続きを行った 令和3年3月6日 6組14名の参加者で実施
チラシ配布先	○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校(各教育委員会に管内小学校への配布を依頼) ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者(リピーター)

ア 参加者への事前案内(別紙12)

イ イベント当日スタッフ配置・スケジュール表(別紙12)

ウ 安全確認チェック表(添付なし)

エ 新型コロナウイルス感染症チェック表(別添3)

オ 実施結果ホームページ掲載(別紙13)

カ 参加者アンケート

アンケートの集計結果は別紙13のとおり

キ 講師・スタッフの意見

- ・荒天時の撤収体制の確認ー悪天候時の中止の判断及び早期撤収等
- ・コロナウイルス感染状況によっては中止する

② 今後開催予定のプログラム

かんじきトレッキング&めのうアクセサリーづくり (N05)

開催日	令和4年3月5日(土) 開催予定
開催場所	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
参加者	募集人員20名予定
講師・スタッフ	西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 西川町大井沢区 西川町役場 東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター
取組状況	—
チラシ配布先(予定)	○鶴岡市、寒河江市、河北町、朝日町、大江町、西川町各教育委員会及び管内小学校(各教育委員会に管内小学校への配布を依頼) ○鶴岡市朝日庁舎 ○朝日少年自然の家、金峰少年自然の家 ○山形新聞社ほか5社、NHKほか4社 ○朝日自然塾過去参加者(リピーター)

③ 中止したプログラム

Ⅳ 森に入って森の営みを探そう (N04)

開催日	令和3年9月予定 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
開催場所	小国町 置賜森林管理署 森林生態系保全地域内の原生的な広葉樹林
参加者	基督教独立学園高等学校 生徒(森林学選択 等)
講師・スタッフ	講師：小国の自然を守る会 助川 暢氏を計画
取組状況	[学校側の要望を踏まえ、森林調査の時間を減らし、自然観察(樹木観察、野鳥観察等)の時間を増やし、助川氏のお話等の時間を取り、森林の営みを知る視点を提示するプログラムに改訂する予定であった。]
チラシ配布先	—
備考	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し中止しました。

2 令和4年度朝日自然塾プログラムの策定について

(1) 令和4年度朝日自然塾実施にあたっての基本的な考え方

朝日自然塾は、平成18年度から朝日自然塾連絡協議会構成団体の協力を得ながら、朝日山地森林生態系保護地域の豊かな動植物の生息する環境を、後世に保全・継承するための人材育成の取り組みの一つとして実施しています。

国民のニーズを踏まえ、関係機関と連携し、効果的な取り組みを進めてまいりたいと考えております。

① プログラムについて

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、1つのプログラムが中止を余儀なくされましたが、3年度内に予定していたスケジュールについては3月開催予定のプログラムを除き、実施しました。実施できたものも、開催時期の変更、現地集合への変更及び募集人数の縮小等、小さくない影響がありました。そのような中でも、実施することのできたプログラムは多くの応募をいただき、概ね高い評価をいただいたところです。

4年度の実施については感染症の状況次第ではありますが、各プログラムの実施時期、開催場所、内容等について検討を願います。

なお、基本的な感染症への対応として、各首長の指示に従い、特に鶴岡市、西川町の施設を使用する際には、施設管理者の指示により使用の可否を判断することになり、使用できない場合は、全時間野外で活動することは困難であることから、社会の趨勢上中止せざるを得ないと考えております。

② 講師・スタッフについて

各構成団体と東北森林管理局が協力し、各プログラムの実施に必要な講師・スタッフの確保に努めます。

③ 安全対策等について

参加者（あさひ小学校を除く）は事前に傷害保険に加入し、全プログラムにおいて各構成団体の協力を得ながら、今後も東北森林管理局が講師・スタッフを含め、安全対策を講じます（巡視員である講師・スタッフは東北森林管理局によりボランティア保険に加入）。

また、「イベント安全確認チェック表（下見表）」及び「準備段階のチェック表」を、事前打ち合わせ、事前踏査時に活用し、安全対策に取り組んでまいります。

イベント当日は、タイムスケジュール・配置表及びパンフレット等により、各自の役割分担、雨天・荒天時の対応について、講師・スタッフの意思統一を図ります。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、各プログラムの中止、延期及び縮小等、臨機応変の対応をしてまいります。

④ 参加募集について

来年度の実施に当たっては、3年度同様、西村山地域及び鶴岡地域の小中学校行事の聴き取りを各教育委員会等に行い、それを参考にしうえて、開催日時を決定したいと考えております。また、引き続き、各教育委員会を通じたチラシ等の配布、リピーターへの通知などを実施し、積極的な情報発信に努めてまいります。

⑤ パンフレットについて

当日配布のパンフレット（大鳥池登山を除く）については、各プログラムの実施内容に即したものであるよう、必要な修正を行います。

自然や森林に対する興味、関心が高まるよう改訂を加えていきます。

今後も「朝日自然塾」の実施にあたっては、これまで同様各構成団体等をはじめとした、地域の皆様のご理解ご協力を得ながら取り組んでまいります。

(2)令和4年度朝日自然塾プログラム案

タイトル	対象者	プログラム及び内容等	実施時期	実施場所等	募集人員数・参加者数	備考 検討事項
1 カッチャハ運路のトンボ観察と 大井沢で一日昆虫博士	募集	・トンボや水生昆虫の観察 ・昆虫博士の珍しい昆虫 ・大井沢自然博物館見学 ・昆虫観察のルールとマナー	6月中旬頃	・西川町大井沢カッチャハ運路 ・西川町自然と匠の伝承館/大井沢自然博物館	親子等20名	少人数の場合(20名未満)個室 保険料が値上がりした場合は、 人数によっては参加費に差額が ある旨、告知する必要がある(他 プログラムも同様)。
2 みんなであそぶタキタロウへの道	あそび小学校 児童	・森の動植物と朝日山地を学ぶ ・水溜りの大切さを学ぶ ・ふるさとの山を守るルールとマナー	7月上旬	・鶴岡市大島池高ダム(駐車場)～大島池	5年生児童数	参加児童の登山中の安全をより 一層確保するための対策につい て出席時間、装備等について検 討。
3 アロが教えるイワナ釣り	募集	・みんなに教えてい岩魚の話 ・深淵のいルールとマナー ・川釣り入門・体験 ・イワナの産卵体験	7月中旬頃	鶴岡市大島東大島川及びタキタロウ館	親子等25名	例年、鶴岡市朝日片倉おひさ の提供を受けているが、2年度 及び3年度は、産卵期リスク程 度のため現地集合とした。 4年度についても、同様の対応 で計画する。
4 森に入って森の営みを学ぶ	盛岡県立学園 高等学校 生徒	・広葉樹の太木が作る森で調査をします ・森林に生育する植物を知ります ・木の大さき等を測ります ・フナ林の営みを探ります	9月下旬 (半日と1日 して決定)	小国町 盛岡森林管理署 ・森林生態系保全地域内の原生的な広葉樹林(朝日山 地モニタリング調査箇所)	希望生徒数	プログラムを平成30年度は森 林調査主体であったが、観察主 体に変更する。 なお、令和2年及び3年度はコ ロナウイルス感染症拡大の影響 により中止した。
5 かんじきトレンギを めうアクセサリ〜づくり	募集	・かんじきの履き方と歩き方 ・大井沢にはどんな動物がいるの ・森の観察 ・昆虫のおもしろい話 ・おしゃべり ・めうアクセサリ〜づくり体験	3月上旬	・西川町自然と匠の伝承館/大井沢自然博物館 ・カッチャハ運路周辺の森林	親子等20名	

令和3年度

朝日自然塾プログラム

朝日自然塾連絡協議会

1 カッチャバ湿原の昆虫観察
& 大井沢で一日昆虫博士

2 みんなで歩こう

タキタロウへの道

3 フロコが教えるイワナ釣り
～東大島川でイワナ釣りに挑戦

◇日時: 令和3年6月19日(土)

◇場所: 西川町大井沢

◇募集人員: 小中学生の親子等20人

◇参加費: 700円(入館料・保険料等)

◇内容

- ・トンボや水性昆虫の観察
- ・昆虫博士の珍しい標本
- ・大井沢自然博物館見学
- ・昆虫観察のルールとマナー

◇日時: 令和3年7月8日(木)

◇場所: 鶴岡市大島池等

◇参加者: あさひ小学校5年生

◇内容

- ・大島池タキタロウ伝説とは
- ・森の動植物と朝日山地を学ぼう
- ・水資源の大切さを学ぼう
- ・ふるさとの山を守るルールとマナー

◇日時: 令和3年7月22日(木・祝)

◇場所: 鶴岡市大島 東大島川

◇募集人員: 小中学生の親子等25人

◇参加費: 700円(入館料・保険料等)

◇内容

- ・みんなに教えたい岩魚の話
- ・溪流釣りのルールとマナー
- ・川釣り入門・体験
- ・イワナの塩焼き体験

4 森に入って

森の営みを探そう



◇日時: 令和3年9月下旬

◇場所: 小国町針生平

◇参加者: 基督教独立学園高等学校

◇内容

◎広葉樹の大木が作る森で観察・調査をします。

- ・森林に生育する植物を知ります
- ・木の大きさ等を測ります
- ・ブナ林の営みを探ります

◇日時: 令和4年3月5日(土)

◇場所: 西川町大井沢

◇募集人員: 小中学生の親子等20人

◇参加費: 2,000円(入館料・めのうアクセサリーづくり体験料等)

◇内容

- ・かんじきの履き方と歩き方
- ・大井沢にはどんな動物がいるの
- ・冬芽の観察
- ・昆虫のおもしろい話
- ・そりすべり
- ・めのうアクセサリーづくり体験



朝日自然塾連絡協議会

出羽三山の自然を守る会 山形県溪流釣り協議会 山形県山岳連盟

西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 鶴岡市朝日庁舎 西川町大井沢区

山形県内水面漁業協同組合連合会 山形県猟友会 小国の自然を守る会

東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

お問い合わせ先

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合3

○TEL:0235-58-1730 ○FAX:0235-58-1731

○E-mail: t_syounai_f@maff.go.jp

※ プログラム1, 3, 5の参加者を募集します

申込みは住所・氏名・連絡先等を朝日庄内森林生態系保全センターあてにお知らせ下さい。

日時等は変更となることがあります。その際は随時、当センターホームページにてお知らせいたします。

令和4年度

朝日自然塾7 町 礼

朝日自然塾連絡協議会

1 カッチャバ湿原の昆虫観察
& 大井沢で一日昆虫博士

- ◇日時：令和4年6月中旬
◇場所：西川町大井沢
◇募集人員：小中学生の親子等20人
◇参加費：700円(入館料・保険料等)
◇内容
・トンボや水性昆虫の観察
・昆虫博士の珍しい標本
・大井沢自然博物館見学
・昆虫観察のルールとマナー



2 みんなで歩こう

タキタロウへの道

- ◇日時：令和4年7月上旬
◇場所：鶴岡市大鳥池等
◇参加者：あさひ小学校5年生
◇内容
・大鳥池タキタロウ伝説とは
・森の動植物と朝日山地を学ぼう
・水資源の大切さを学ぼう
・ふるさとの山を守るルールとマナー

3 フロが教えるイワナ釣り
～東大鳥川でイワナ釣りに挑戦

- ◇日時：令和4年7月中旬
◇場所：鶴岡市大鳥 東大鳥川
◇募集人員：小中学生の親子等25人
◇参加費：900円(入館料・保険料等)
◇内容
・みんなに教えない岩魚の話
・溪流釣りのルールとマナー
・川釣り入門・体験
・イワナの塩焼き体験



4 森に入って

森の営みを探そう

5 かんじきトッキング&
めのうでアークセサリーづくり

- ◇日時：令和5年3月上旬
◇場所：西川町大井沢
◇募集人員：小中学生の親子等20人
◇参加費：2,000円(入館料・めのうアークセサリーづくり体験料等)



◇内容

- ・かんじきの履き方と歩き方
- ・大井沢にはどんな動物がいるの
- ・冬芽の観察
- ・昆虫のおもしろい話
- ・そりすべり
- ・めのうアークセサリーづくり体験

朝日自然塾連絡協議会

出羽三山の自然を守る会 山形県溪流釣り協議会 山形県山岳連盟
西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館 鶴岡市朝日庁舎 西川町大井沢区
山形県内水面漁業協同組合連合会 山形県猟友会 小国の自然を守る会
東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

お問い合わせ先

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合3

○ TEL:0235-58-1730 ○ FAX:0235-58-1731

○ E-mail: t_syounai_f@maff.go.jp

※ プログラム1, 3, 5の参加者を募集します

申込みは住所・氏名・連絡先等を朝日庄内森林生態系保全センターあてにお知らせ下さい。
日時等は変更となることがあります。その際は随時、当センターホームページにてお知らせいたします。

カッパバ湿原

(案)

イベント安全確認チェック表 (下見等)

朝日庄内森林生態系保全センター

6/10 下見打合 チェックポイントと対策	
作業地、通路歩行及び滑落危険箇所等の安全確認	
☒ 足場の悪いところ	→ 倒木、石、根などつまづきやすいところや、穴、崖、滑りやすいところなどを確認し、テープ等の目印を付けて近寄らないか、注意喚起する。危険な場合は除去するなどの対策をとる。
☒ 通路などの障害物	→ ササや小枝は、はねて目に当たりやすいので見つけたら除去して通路の端の方に寄せる。
☒ 活動範囲の設定	→ 作業区域、散策コース、見渡せる範囲、声が届く範囲など活動エリアをみんなで確認する。
☐	
枯れ枝など危険箇所の安全確認	
☒ 枯れ木	→ 頭上の枝の落下する場所があるので近寄らない。特にスギの枯れ枝は高所から落ちてくるので注意する。
☒ 倒木	→ 危険な場合は近寄らないか、事前に切っておく（大木は専門家に依頼）。
☐ 目の高さに突き出た枝	→ 森を歩くときは、前の人の払いのけた枝が目をつく場合があるので注意するよう促す。特に危険な場合には管理者の了解を得て除去する。
☐	
蜂、マムシ、毒草等の確認及び注意喚起のための表示等	
☒ かぶれる植物（ヤマウルシ、ツタウルシ、ヌルデなど）	→ 日の当たるところに生えていることが多い。危険な場合は除去又は目印のテープ表示で注意喚起する。 ツタウルシあり
☐ 有毒植物（トリカブト、マムシグサなど）	→ 実物を見せて注意を促す。
☐ とげ植物（サルトリイバラ、モミジイチゴ、イラクサなど）	→ 危険な場合は除去又は実物を見せて注意を促す。
☒ ヘビ	→ 道路、日当たりの良いブロックの上、岩の間の倒木の陰や藪にひそんでいるので表示をして近寄らないか、下草刈りをして潜みにくい環境に変える。同じ場所にいることがあるので注意する。
☒ 蜂の巣	→ ブーン・カチカチ音がすれば蜂が飛び回っています。巣が近くに無いか注意。巣があった場合は危険なので近づかないように表示するか、業者等に除去を依頼する。
☐ ケムシ	→ 春から夏にかけて、食樹となるバラ、サクラ、カエデ、ツバキなどに付きやすい。目印を付けたりして注意を促す。
☐	
森の活動時に最低限必要な持ち物と服装	
☒ 指導者の持ち物	→ 救急セット、笛、熊鈴、蜂スプレー、活動に必要な準備物
☒ 参加者の持ち物	→ 水筒、タオル（虫刺され防止兼用）、カッパ（上下別タイプ）、ビニール袋（拾い物など）、筆記用具、着替え
☒ 服装	→ 長袖、長ズボン、帽子、軍手、長靴（紫外線、注意生物対応、ケガ防止、日射病から体を守る）。
☐	
活動フィールドにおけるその他確認	
☐ 休憩・水分補給タイミング・場所の確認	（暑いときは30分に1回程度休憩し水分補給、飲み過ぎ腹痛に注意）。
☐	

※参考文献 「森からひろがる どんぐりの森活動プログラム集 一小学校中学校での環境学習に向けて」上越市

(案)

準備段階のチェック表

朝日庄内森林生態系保全センター

6/10 下見・打合	チェックポイント
☒	プログラムの目的・日程をスタッフ全員で確認しましたか。
☒	各アクティビティ（活動・行動）のリスクの大きさをスタッフ全員が把握しましたか。
☒	地図及び現場で活動範囲を確認しましたか。
☒	リスクの多い場所をスタッフ全員が把握しましたか。
☒	参加者についての必要な事前情報（体調・服装・持病など）をスタッフ全員で共有しましたか。
☒	天候・気象状況の予報を確認しましたか。
☒	スタッフ間の役割分担を確認しましたか。
☒	緊急時の行動のリハーサルを行いましたか。
☒	衛星携帯電話の通信状況を確認をしましたか。携帯使用可
☒	救急薬品の携行を確認しましたか。
☒	必要な用具・装備品の最終確認をしましたか。
☒	スタッフの体調・健康状態を確認しましたか。

※参考文献

「自然とのふれあい活動における安全対策マニュアル策定調査報告書」平成18年3月

特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会

(案)

イベント安全確認チェック表 (下見等)

朝日庄内森林生態系保全センター

9月7日 下見 チェックポイントと対策 6/15, 6/29 下見	
作業地、通路歩行及び滑落危険箇所等の安全確認	
☒	足場の悪いところ → 倒木、石、根などつまづきやすいところや、穴、崖、滑りやすいところなどを確認し、テープ等の目印を付けて近寄らないか、注意喚起する。危険な場合は除去するなどの対策をとる。
☒	通路などの障害物 → ササや小枝は、はねて目に当たりやすいので見つけたら除去して通路の端の方に寄せる。
☒	活動範囲の設定 → 作業区域、散策コース、見渡せる範囲、声が届く範囲など活動エリアをみんなで確認する。
☐	
枯れ枝など危険箇所の安全確認	
☒	枯れ木 → 頭上の枝の落下する場所があるので近寄らない。特にスギの枯れ枝は高所から落ちてくるので注意する。
☒	倒木 → 危険な場合は近寄らないか、事前に切っておく（大木は専門家に依頼）。 ※ 倒木は事前に確認し、危険な場合は除去する。
☒	目の高さに突き出た枝 → 森を歩くときは、前の人の払いのけた枝が目をつく場所があるので注意するよう促す。特に危険な場合には管理者の了解を得て除去する。
☐	
蜂、マムシ、毒草等の確認及び注意喚起のための表示等	
☒	かぶれる植物（ヤマウルシ、ツタウルシ、ヌルデなど） → 日の当たるところに生えていることが多い。危険な場合は除去又は目印のテープ表示で注意喚起する。 ※ ツタウルシ、ヤマウルシ（特にツタウルシ） 蜂を見つけたら注意喚起する。
☒	有毒植物（トリカブト、マムシグサなど） → 実物を見せて注意を促す。
☐	とげ植物（サルトリイバラ、モミジイチゴ、イラクサなど） → 危険な場合は除去又は実物を見せて注意を促す。
☒	へび → 道路、日当たりの良いブロックの上、岩の間の倒木の陰や藪にひそんでいるので表示をして近寄らないか、下草刈りをして潜みにくい環境に変える。同じ場所にいることがあるので注意する。
☒	蜂の巣 → ブーン・カチカチ音がすれば蜂が飛び回っています。巣が近くに無いか注意。巣があった場合は危険なので近づかないように表示するか、業者等に除去を依頼する。 ※ 蜂の巣は事前に確認し、危険な場合は除去する。
☒	ケムシ → 春から夏にかけて、食樹となるバラ、サクラ、カエデ、ツバキなどにつきやすい。目印を付けたりして注意を促す。
☐	
森の活動時に最低限必要な持ち物と服装	
☒	指導者の持ち物 → 救急セット、笛、熊鈴、蜂スプレー、活動に必要な準備物
☒	参加者の持ち物 → 水筒、タオル（虫刺され防止兼用）、カップ（上下別タイプ）、ビニール袋（拾い物など）、筆記用具、着替え
☒	服装 → 長袖、長ズボン、帽子、軍手、長靴（紫外線、注意生物対応、ケガ防止、日射病から体を守る）。 ※ 事前に学習して注意喚起
☐	
活動フィールドにおけるその他確認	
☒	休憩・水分補給タイミング・場所の確認（暑いときは30分に1回程度休憩し水分補給、飲み過ぎ腹痛に注意）。
☐	

※参考文献 「森からひろがる どんぐりの森活動プログラム集 ー小学校中学校での環境学習に向けてー」上越市

(案)

準備段階のチェック表

朝日庄内森林生態系保全センター

タキワウへの道	チェックポイント	6/15, 6/29 下見✓
☒	プログラムの目的・日程をスタッフ全員で確認しましたか。	
☒	各アクティビティ（活動・行動）のリスクの大きさをスタッフ全員が把握しましたか。	
☒	地図及び現場で活動範囲を確認しましたか。	
☒	リスクの多い場所をスタッフ全員が把握しましたか。	沢の崩壊部（代えて補修してあり）
☒	参加者についての必要な事前情報（体調・服装・持病など）をスタッフ全員で共有しましたか。	
☒	天候・気象状況の予報を確認しましたか。	
☒	スタッフ間の役割分担を確認しましたか。	
☒	緊急時の行動のリハーサルを行いましたか。	6/29 小笠原と下見✓
☒	衛星携帯電話の通信状況を確認をしましたか。	太崎地はOK. 沖ノ子清水の辺は不通
☒	救急薬品の携行を確認しましたか。	
☒	必要な用具・装備品の最終確認をしましたか。	
☒	スタッフの体調・健康状態を確認しましたか。	

※参考文献

「自然とのふれあい活動における安全対策マニュアル策定調査報告書」平成18年3月

特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会

令和3年5月28日

令和3年度朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察＆大井沢で一日昆虫博士」のお知らせ

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター所長

軽暑の候、皆さまにはご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和3年度朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察＆大井沢で一日昆虫博士」を、別紙「参加者募集」により、令和3年6月19日(土)に実施いたします。

別紙「申込用紙」に必要事項を記載して、令和3年6月9日(水)までにFAX等にてお申し込みください(先着順(20名)・定員になり次第締め切らせていただきます)。

職員・スタッフ一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者: 自然再生指導官 赤澤 友光

カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士

いつ
どこで

令和3年6月19日(土) 9時30分～
西川町大井沢「自然と匠の伝承館」
山形県西村山郡西川町大字大井沢4110
電話：0237-76-2112

募集人数
申し込み

小中学生の親子等、一般の方20名(先着順)
朝日庄内森林生態系保全センター
電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731
Eメール tomomitsu_akasawa260@maff.go.jp (担当：赤澤)

締め切り

令和3年6月9日(水) 17時まで
(先着順・定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費

1人 700円(障害保険料、入館料等)
(参加費は参加人数により変更となる場合があります。)

持ち物

長靴、雨合羽、軍手、帽子、タオル、着替え、(虫取り網、虫かご)、飲み物、昼食
(近隣に飲食店、コンビニ等はありません)、筆記用具



○感染症対策のお願い

- ・当日、発熱や咳等がある場合は参加を見合わせてください。
- ・受付時に検温、健康状態の聴き取りをさせていただきます。
- ・感染予防のため、マスクを着用して参加してください。
- ・プログラム中も随時、手洗いや備付けの消毒液により手指の消毒を行うよう心がけてください。

プログラムの内容

- 9:30 開会式「自然と匠の伝承館」
 - 10:00 ・カッチャバ湿原の昆虫観察
 - ・野鳥や植物観察
 - ・カッチャバ湿原散策
 - 12:00 昼食
 - 13:00 ・標本観察と昆虫のおもしろい話
 - ・大井沢自然博物館観察
 - 14:30 まとめ・閉会式
- ※荒天時は屋内のみのプログラムに変更する場合があります。

朝日自然塾 構成団体

山形県山岳連盟、出羽三山の自然を守る会
小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会
山形県内水面漁業協同組合連合会、山形県猟友会
西川町大井沢区、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館
鶴岡市朝日庁舎、東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)



- ※当日のスナップ写真を資料等に使用させていただく場合がございます。
- ※新型コロナウイルス感染症について、実施日の2週間前程度に西川町で感染者が発生した際は中止とする場合があります。著しい荒天時も中止とする場合があります。実施時も天候等によりプログラムを変更する場合があります。

カッチャバ湿原の生き物たち

カッチャバ湿原にはいろいろな生き物たちが棲んでいます。
当日はどんな生き物たちに出会えるかな？



参加申込書 (このまま送信して下さい)

FAX送付先

朝日庄内森林生態系保全センター 赤澤 あて

FAX:0235-58-1731

朝日自然塾(カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士)の参加を申し込みます。

(ふりがな)	住	所	生年月日	学	代表者の電話番号
氏 名			(保険用)	年	(日中につながる連絡先)
男	〒				
女					
男					
女					
男					
女					

※ 参加者は先着20名とさせていただきます。応募いただいた方には受付の可否等の確認を含めご連絡をさせていただきます。

また、まれにFAX等で送信された文字が潰れているなどして判読できず、当方から連絡ができない場合があります。申込期限を過ぎても当方から受付の可否の連絡が無い場合、お手数をおかけしますが、当センターまで連絡をいただきますようお願いいたします。

令和3年6月11日

令和3年度朝日自然塾

「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」

参加者の皆さんへ

朝日庄内森林生態系保全センター所長

このたびは、令和3年度朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」にご応募いただきありがとうございます。

実施に当たり、下記のとおりご留意いただきたい事項を連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。6月19日（土）西川町自然と匠の伝承館・自然博物館にてお待ちしております。

記

- 1 開催日は6月19日（土）です。

集合時間・場所は、9時30分開会式開始（受付は9時15分より）

「西川町自然と匠の伝承館・自然博物館」です。

山形県西村山郡西川町大字大井沢4110

電話：0237-76-2112

- 2 持ち物は、長靴、雨合羽、軍手、帽子、タオル、着替え、（虫取り網、虫かご、）飲み物、昼食です。（近隣に飲食店、コンビニ等はありません。）
湿原での活動となり、足下が悪いので、長靴や着替えを忘れずにお持ちください。

- 3 参加費は一人700円です。当日受付にてお支払い願います。

- 4 悪天候などへの対応

（1）小雨等の場合は予定どおり行います。ただし、開会後に天候が急変した場合は自然と匠の伝承館に移動し、室内中心のプログラムに変更する場合があります。

(2) 前日までの天気予報で暴風雨等により、安全な活動や車両の運転に支障をきたすおそれがあると判断される場合は中止することとし、6月

18日(金)午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大について、西川町に感染者が発生するなど、感染状況が悪化した場合には、直前であっても中止する場合があります。その場合は6月18日(金)午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

5 感染対策のため、マスクを着用し、発熱や咳等があり体調が思わしくない場合は参加を見合わせるようにしてください。また、受付時に「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート」記入の協力をお願いいたします(検温と過去2週間の状況等)。

6 急な事由などでキャンセルされる場合は、できるだけ早めにご連絡をお願いいたします。

前日6月18日(金)午後5時までは、

0235-58-1730(朝日センター事務所)

当日6月19日(土)は、

090-5778-3831

7 その他不明な点等については、以下にお問い合わせください。

朝日庄内森林生態系保全センター 担当：赤澤 友光

電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731

令和3年度朝日自然塾

「カッチャバ湿原の昆虫観察&大井沢で一日昆虫博士」(案)

(晴天時)

日時 令和3年6月19日(土) 9:00~14:45

参加人数 11名

※スタッフは9時集合(センター8時発)

場所 西川町自然と匠の伝承館集合・解散

参加費 一人700円(入館料・傷害保険料含む)

時間	場所	プログラム	主な内容	担 当					備考
				西川町自然と匠の伝承館・自然博物館	講師	朝日庄内森林生態系保全センター	赤澤	三上	
9:00	伝承館	・打合せ	・打合せ		秋山				・センター準備品
		・参加車両誘導	・参加車両誘導			▲		●	無線機:4
		・受付	・受付			▲	●		救急薬品:1
9:30		・開会式	・主催者挨拶 ・館長挨拶 ・講師・スタッフ紹介		●	●			
		・移動					●		注意事項含む
10:00	カッチャバ湿原	・カッチャバ湿原散策	・カッチャバ湿原の昆虫観察 ・カッチャバ湿原の野鳥や植物を観察		●	●	●	●	庄内署職員(宮崎、対馬、竹内、菅原)は車両誘導、受付等では適宜補助に当たる。
		・昼食							
12:00	伝承館	・標本観察と昆虫のおもしろい話	・昆虫の生態等を学習		●	▲	▲	▲	秋山氏以外は誘導等
13:00		・閉会式	・講評・まとめ						・記念撮影
14:30		・自然博物館見学	・地域の自然を学習	道直、説明等をお願いする					

※打ち合わせは、全体の流れと各スタッフの担当内容を確認。

※イベントは小雨決行。但し、開会後、天候が急変した場合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。

※前日の天気予報で、暴風雨等、移動や活動の安全に支障を来す恐れがあると判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。

※●は主査、▲は副査を表す。

令和3年度第1回朝日自然塾



カッチャバ湿原の昆虫観察 & 大井沢で一日昆虫博士

令和3年6月19日(土)

西川町大井沢地内カッチャバ湿原

西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館



朝日自然塾連絡協議会

山形県溪流釣り協議会 山形県内水面漁業協同組合連合会
鶴岡市朝日庁舎 山形県山岳連盟 出羽三山の自然を守る会
小国の自然を守る会 山形県猟友会
西川町大井沢区 西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館
東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

フ ロ グ ラ ム

- 9 : 3 0 自然と匠の伝承館において開会式
(スタッフ紹介・行程・注意事項等
説明)
- 9 : 4 5 カッチャバ湿原へ移動
- 1 0 : 0 0 カッチャバ湿原
・ 昆虫観察
・ 野鳥や植物観察
・ カッチャバ湿原を散策
- 1 1 : 4 0 自然と匠の伝承館へ移動
- 1 2 : 0 0 昼食 (自然と匠の伝承館)
- 1 3 : 0 0 標本のかんさつと昆虫のお話
- 1 4 : 3 0 閉会式・記念写真撮影

閉会式・記念写真撮影終了後は
大井沢自然博物館を見学し、現地解散

注意事項—みなさんに守ってほしいこと

- (1) 虫を捕ることが目的ではありません。数が少ないものや、飼うことがむづかしいものは観察後に逃がしてあげましょう。
- (2) 活動場所は沼や湿地、しげみなどがあり、安全な場所ばかりではありません。スタッフの言うことを守ってください。
- (3) 網をむやみに振り回したり、他の人に向けて振りますと危ないのでやめましょう。
- (4) ごみは各自持ち帰りましょう。
- (5) 捕ってはいけない場所での昆虫採集はやめましょう。
- (6) もしも身体の調子が悪くなったり、けがをしたときは、すぐに周りのスタッフに声をかけてください。

カッチャバ湿原で見られるかもしれない昆虫

ハッチョウトンボ（トンボ科）

分布 ぶん ぶ 本州・四国・九州 ほんしゅう しこく きゅうしゅう

大きさ おお

腹長 はらちよう 10mm～14mm

後ばね あと 13mm～15mm



特徴など とくちよう

日本一小さなトンボです。

愛知県八丁畷で初めて採集されたことにちなんでこの名がつけられました。

日本国内の分布は局所的なうえ、生息地が開発されるなどしたため、その数を大きく減らしています。山形県では準絶滅危惧種に指定されています。

エゾイトトンボ（イトトンボ科）

分布 ぶん ぶ 北海道・本州北部（東北・上信越地方など） ほっかいどう ほんしゅうほくぶ とうほく じょうしんえつちほう

大きさ 30～40mm

特徴など さんち かんれいち ちしやう しつげん せいそく 山地や寒冷地の池沼や湿原に生息しています。
せいちゆう あらわ 成虫は6月から7月ころ現れます。



か こ かんさつ よう す
過去の観察の様子



カッチャバ湿原を散策すると、いろいろな生き物たちがお互
いに関わりも持ちながら生きていく姿を見ることができます。

大井沢自然博物館

自然博物館は、昭和26年の大井沢小中学校の自然研究が始まりとなり、小中学生と地域が作り上げた手作りの博物館です。

朝日連峰をはじめ大井沢を中心とした貴重な動植物の標本が展示されています。

展示コーナー

植物

大井沢博物館や月山・朝日連峰で見られる四季の植物を紹介しています。

哺乳類

大井沢を中心に生息する哺乳類26種のはく製標本を展示しています。ツキノワグマやカモシカのような大型動物からホンドオコジョ、ヤマネのような小動物までそろっています。

魚類

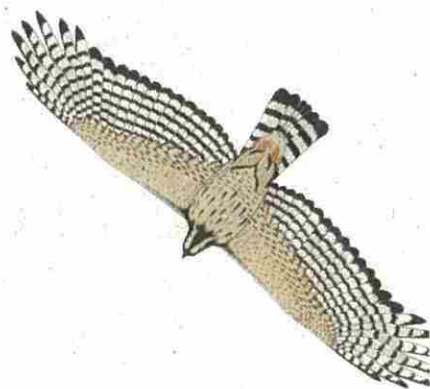
月山・朝日連峰を源とする寒河江川やその上流に位置する大井沢は、昔から豊かな水を育む森が、多くの魚たちの営みを支えてきた上流地域となっています。

大井沢博物館では、寒河江川上流や寒河江ダム（月山湖）に生息する魚類標本や川をテーマとした様々な活動を見ることが出来ます。博物館内には、昭和40年代の石膏法による体長55㌢のイワナのはく製が展示されています。

鳥類

大井沢周辺にはミソサザイのような小型の鳥から、ワシやタカなどの大型の鳥まで生息しています。

博物館内には昭和30年代から地域の人々が収集してきた約115種のはく製標本を展示しております。特に猛禽類に関しては、県内トップレベルの充実ぶりで、イヌワシとクマタカの剥製がそろっています。



自然と匠の伝承館

自然と匠の伝承館は、農山村の生活文化や伝承技術を伝承する体験型の生涯学習施設です。巧人の工房見学のほか、予約に応じ、メノウ細工、月山和紙、土鈴絵付け、草木染、こけし絵付けなどが体験できます。

月山和紙

出羽三山信仰で賑わった江戸時代より月山和紙づくりが始まりました。明治時代には200戸以上が冬期間の貴重な現金収入源として紙漉を行っていましたが、現在は、僅か数人が月山和紙を引き継いでいます。草花を入れて漉くこともできます。きれいで楽しい作品を作ってみてください。



土鈴絵付け

土鈴は、古代より伝わる土を固め焼いて作った鈴で、音色は素朴な音がします。干支を描いてある鈴もご用意しておりますが、自分でオリジナルの絵を描いて楽しむことができます。

メノウ細工

月山メノウは、ブナの原生林を源とする朝日山麓の根子沢上流で発見されました。土地の人達は昔からこの石を飾り石として床の間や玄関先に飾っていました。特に大井沢は赤褐色をした品質の良いジャスパーがとれます。体験では、地球がつくった石の切断から研磨して自分だけのオリジナルの作品が作れます。



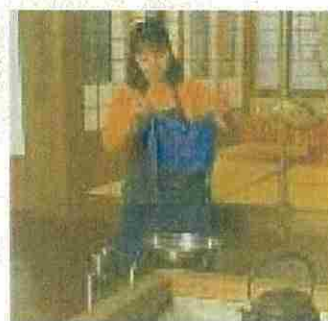
こけし絵付け

大井沢の木地業は明治32年に、志田五郎八氏が集落の振興のために、秋田県川連より木地職人を招いて始まりました。はめ込み中央胴細菊くずし胴模様の大正時代の復元こけしは“菊麻呂こけし”として親しまれています。個性あふれる「こけし絵付け」にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。



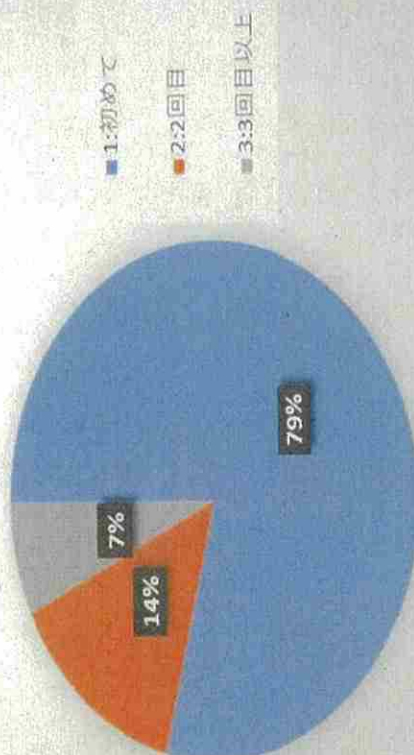
草木染め

紅花・藍・紫根・茜などの植物染料のほとんどが漢方薬です。布を染めるという事は生命力のあふれた植物のエネルギーを布に移し、身を守るという自然とともに生きた先人の知恵だったようです。四季折々の植物により本来の意味を考えながら、健康的で楽しい草木染めの体験できます。簡単な絞りから、縫い絞り、板締め絞りなどが体験できます。



令和3年度 カッチャバ湿原アンケート結果

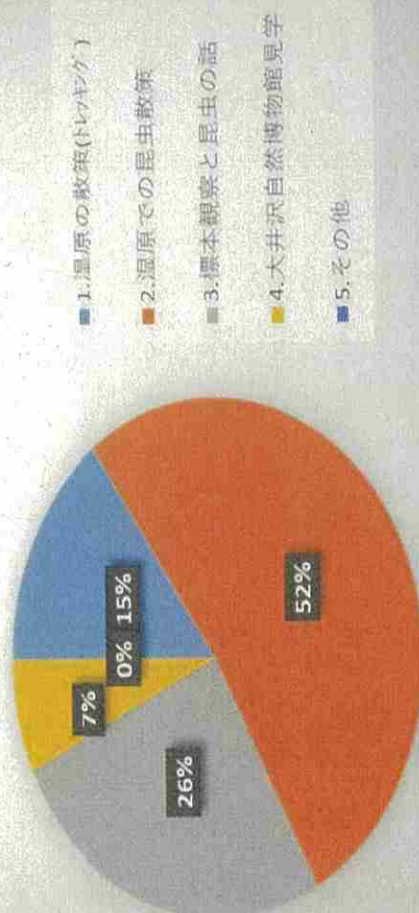
Q1.何回目の参加ですか？



Q2.今回の自然塾をどのようにして知りましたか？



Q3.何を楽しみに来ましたか？



Q4.どうして来たくありませんでしたか？



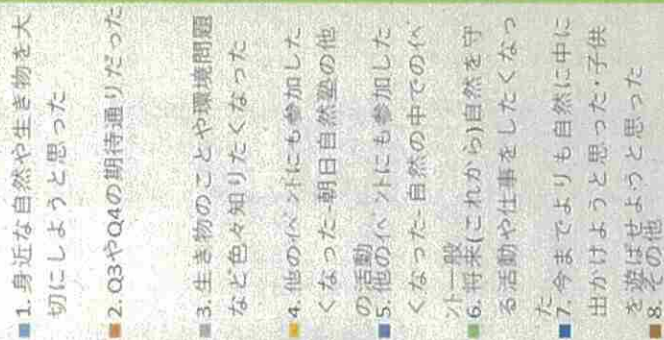
Q5. また、イベントに参加したいですか？



Q7. イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください？



Q6. 参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？



カッチャバ湿原の昆虫観察 & 大井沢で一日昆虫博士

令和3年度朝日自然塾(※)が6月19日(土)に、西川町大井沢区にて、西川町大井沢支所、西川町自然と匠の伝承館・自然博物館、庄内森林管理署の協力を得て開催されました。当日はしとしと雨の降る、あいにくの天気でしたが、親子を中心に6組15人、天気に負けない、元気いっぱいの参加をいただきました。



昆虫の標本に身を乗り出す



湿原で水生昆虫を探す

まず講師による、標本観察と昆虫のおもしろい話を聴きました。さらに、標本だけでなく講師の方が飼育している生きた昆虫も登場。これにはお子さんたちも大喜びでした。

その後、いよいよ湿原へ。

外はあいにくの雨降りでしたが、雨合羽と長靴、それに虫取り網の完全装備で出かけました。

湿原の沼では、クロゲンゴロウ、コオイムシ、各種のヤゴ、産卵中のモリアオガエルなど、雨降りにもかかわらず、さまざまな水辺の生き物たちを観察することができました。

心配された天気の中、終了時間が来ても、なかなか帰りたがらないお子さんもいるなど、元気いっぱいに里山の自然を楽しんでいただけたようです。

参加いただいた皆さん、雨の中、ほんとうにお疲れさまでした！



雨の中、お疲れさまでした

(※)朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

7月8日(木) 活動プログラム(晴天プログラム)

時刻	活動	活動内容	準備	担当
6:30	昇降口前に集合完了 朝の会	○登校した人から「しおり・筆記具」「あめ」を班ごとに取る。途中乗車の人の分は、班長または副班長が持っておく。 ① 朝のあいさつ(心美)司会(晴) ② 校長先生のお話 ③ 出発のあいさつ(陽姫)	○「しおり・筆記具」 ○登山あめ(登山人数分) ○カメラ(先生各1) ○救急セット(先生各1)	○前日、班ごとに集める(担任) ○前日、袋詰め(児童・担任) ○カメラ準備・充電3台(担任) ○写真(校長・田村・菅原) ※阿部写真館さんも同行 ○救急セット準備(菅原) ○バス乗車(1号車:田村) (2号車:菅原) ○緊急車(校長)
6:40	学校出発	○バス乗車(2つに分かれて) 1号車…途中乗車児童、3班 2号車…1班・4班・5班・6班	○途中乗車:10名	
7:30	トイレ休憩	○タキタロウ会館で、トイレ休憩。		
8:30	泡滝着	○朝日自然塾スタッフと合流。 ◎登山出発式(進行 田村先生) ① 児童代表の言葉(優之介) ② 指導者の先生の紹介(田村先生) ・班ごとに紹介、児童あいさつ ③ 校長先生のお話 ④ 保全センター所長さんのお話 ⑤ 登山の注意、準備運動(長南さん)	○担当はトランシーバーを携帯する。	
	登山開始	○班ごとに登山開始(1班~6班) チームみんなで助け合って登りきろう!		○登山中の児童の健康観察。体調不良の場合は「緊急時対応」に従う。(各班担当職員)
12:00	大鳥池到着 休憩、昼食	○到着した班から児童の健康状態確認、報告(学校職員または担当職員から担任へ) ○班ごとに休憩、トイレに行く。 ○班ごとに昼食、片付け(食事係) ○山頂の小屋の清掃(トイレや床の泥落とし) ○下山開始前に集合写真 ○班ごとに下山開始(1班~6班)		○大鳥池山頂でのマナー ・誰にでもあいさつ ・大声を出さない。 ・施設は、きれいに使う。 ・帰りに清掃をする。チェックする。(田村・菅原)
13:00	下山開始			
16:30	泡滝着	◎朝日自然塾のみなさんにお礼 ・児童あいさつ(花帆)		
16:40	バスで移動			
17:20	自然の家着 入所式 荷物整理	○荷物を持って体育館に整列(班長) ◎入所式(別頁) ○シーツと枕カバーを班の人数分、食堂前に取りに来る。(清掃係) ○布団のしき方の確認(田村先生) ○食事あいさつ「いただきます」(桜子) 「ごちそうさまでした」(舞) ○ペットボトルを洗って出す。 ○終わった班から点検を受けて、キャンプファイヤーへ(食事係) ○道具・材料準備(キャンプファイヤー委員)	部屋割り ・男子 2階 けやき ・女子 2階 ふな	○状況により、着替えを優先。 ○食堂前で確認する。 ○蚊取りマットを借りる。
18:00	夕食(食堂)			○キャンプファイヤー準備:原田・田村 ○マシュマロ、割りばし:担任
18:40	キャンプファイヤー ※談話室で円になって			○シャンプー、リンス、ボディークリームを風呂場にセット。(原田・田村)
19:30	入浴準備、入浴 ※20:30までは入浴可	○男子:(1~3班)⇒(4~6班) 女子:(1~2班)⇒(3~4班)⇒(5~6班)	入浴グッズ ・着替え下着、運動着、 タオル、バスタオル、 よごれもの入れ袋 ○入浴後、タオル、バスタオルを干す。 班会 しおり 筆記用具	○入浴指導 男子 原田 女子 田村 ・体を洗ってから湯船に入る。 ・湯船にタオルを入れない。 ・体をふいて脱衣場にかかる。 ○児童の入浴後指導、班会指導(担任)
20:00	班会(談話室)	○集合、班ごとにまわる。(班長) ○ふり返りと翌日の予定確認(班長) 健康観察、菅原先生に報告(健康係) ○自分の布団をしき。歯みがき。		○布団しき、歯みがき指導 男子 原田 女子 田村 ○就寝指導、確認 男子 原田 女子 田村 ○先生方交代で入浴 ○翌日の打ち合わせ 22:00
20:30	就寝準備	~ゆっくり おやすみなさい~		
21:00	就寝	○「おやすみ」後は声を出さないこと。 ○翌朝6:00まで起き出さないこと。 ○トイレに行く人は自分で行く。 (何人も一緒に行かないこと) ※1つの部屋に何人も寝ることになります。 ゆっくり寝たい人のために、なかなか寝付けない人も気をつかって静かにしましょう。		

7月9日(金) 活動プログラム(晴天プログラム)

時刻	活 動	活 動 内 容	準 備	担 当
6:00	起床・洗面	○着替え、洗面、布団をかたづけ。 ○シーツやまくらカバーをたたんで、食堂前の箱に入れる。(清掃係) ○部屋の片づけ	○運動着の長袖長ズボンのままでOK。下着だけ替えてもよい。	○布団かたづけ指導 男子 原田 女子 田村 ○シーツ確認 田村
6:45	朝の会(体育館)	○班ごと体育館に整列(班長) ○健康観察(健康係、田村先生に報告) ◎進行(晴) ① 朝のあいさつ(真鈴) ② 代表の言葉(美嘉) ③ 連絡(田村先生)		
7:00	朝食(食堂)	○食事あいさつ「いただきます」(遥真) 「ごちそうさまでした」(愁介) ○班ごとにテーブル片づけ、確認して担任の先生に報告。(食事係) ○空のペットボトルに麦茶をつめてもらう。	○空のペットボトル1本	
7:30	歯みがき 部屋片付け、荷物整理 森林保全活動準備、 休憩	○森林保全活動の準備をしてから、静かに休憩。	○森林保全活動準備 ・しおり、筆記用具、 ペットボトル(お茶) ・運動着の長袖長ズボン ・首にタオルをまく。 帽子をかぶる。 ・長靴をはく。	
8:30	バス出発 (自然の家発)			
9:00	森林保全活動	(進行 田村先生) ○保全活動の先生にあいさつ(唯人) ◎保全活動の先生のお話 ○活動後の感想発表(まお) ○保全活動の先生にお礼(莉子)		
11:00	バス出発			
11:30	自然の家に到着 屋食	○班員、先生の昼食を受け取る。(食事係) ○食事あいさつ「いただきます」(樹里) 「ごちそうさまでした」(丈瑠) ○食後、準備をしてから休憩。		○屋食は、屋外の涼しい場所。 雨天の場合は食堂。
12:20	自然の家玄関に集合	○班ごと集合、整列。(班長)	○グリーンアドベンチャー準備 ・薄手の長袖 ・長ズボン ・ぼうし ・長ぐつ	○3グループでの活動 先頭:自然の家職員 真ん中:田村・菅原 最後尾:自然の家職員
12:30	グリーンアドベンチャー	○移動し、グリーンアドベンチャー。 (自然の家の先生) ○自然の家の先生にあいさつ(裕真) ○注意をよく聞いて安全に参加する。 ○自然の家の先生にお礼のあいさつ(美優)		
14:00	自然の家へ移動 自然の家着	○着替え、荷物整理(すぐ帰るようにまとめる) ○まとめた荷物は体育館に班ごとに並べる。	○荷物は登山リュックと 着替え用バッグの2つ にまとめる。	○着替え・荷物整理指導 男子 菅原 女子 田村
14:30	奉仕活動	◎清掃分担 (別頁) (終了後、清掃係が確認して担当の先生に報告)		○清掃確認(担当の先生)
15:15	退所式	◎退所式 (別頁)	○玄関を出る時に内ズックを入れる	
15:30	自然の家発		○途中下車:10名	○バス乗車(1号車:田村)
16:10	学校着、解散	○「ただいま」のあいさつ(睦希) ○「さようなら」(さやか)	○家の人に迎えに来てもらって下校。	(2号車:菅原) ○緊急車(校長)

令和3年度 大鳥池登山参加者 班編成

(班リーダーは前方、サブリーダーは後方、救護係は児童の間に入るようにする)

	児 童 (◎班長)					朝日自然塾・スタッフ ☆は9日(金)の場合			教職員
	◎渡部 凧咲 わたなべなぎさ	井上 愁介 いのうえしゅうけい	渡部 さやか わたなべさやか	鈴木 まお すずきまお		班リーダー	班サブリーダー	班サブリーダー	
1班	◎五十嵐 優之介 いがらしゆうのすけ	長南 遥真 ちやうなんはるま				長南 厚 ちやうなんこう	三上 和馬 みかみわま		田村 梓 ※無線機 たむら ずい
2班	◎渋谷 美嘉 しがやみか	齋藤 桜子 さいとうさくらこ	難波 花帆 なんばかほ	阿部 真鈴 あべまりん		佐久間 憲生 ☆佐藤 淳 さくまけんせい	佐藤 淳 ※無線機 さとう じゅん	加藤 史子 かとう しこ	※無線機
3班	◎遠藤 伊吹 えんどういぶき	渡部 文瑠 わたなべふる	北橋 睦希 きたはしむつき			高橋 宣裕 ☆中嶋 一 たかはし のりひろ	小林 未知子 ※衛星携帯 こばやし みちこ		小澤 敏一 校長先生 ※衛星携帯 こざわ びん
4班	◎中村 円 なかつむら 円	安達 舞 あだち まい	上野 美優 うえの みゆう	佐藤 心美 さとう こころみ		菅原 和明 すがはら かつみ	武内 治樹 ※無線機 たけうち じしゅ	阿部 弘 あべ ひろ	※無線機
5班	◎中村 円 なかつむら 円	安達 舞 あだち まい	五十嵐 唯人 いがらし ゆいと	佐藤 陽姫 さとう はるひ		難波 賢一 なんば けんいち	菅原 悠希 すがはら ゆうき	佐藤 雅秀 さとう まゆひ	菅原 さおり ※無線機 すがはら さおり
6班	◎渡部 晴 わたなべ はる	長谷川 樹里 はせがわ じゅり	渡部 莉子 わたなべ りこ	難波 裕貴 なんば ゆうき		田辺 孝一 たなべ けいいち	渡部 美智 わたなべ みち	中嶋 一 ☆赤澤 友光 (8日はフリー)	工藤 勝喜 ※無線機 こうどう かつき

みんなで歩こう タキタロウへの道

令和3年度朝日自然塾(※1)は鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室の一環として、5年生児童23名、教職員等6名、朝日自然塾連絡協議会の出羽三山の自然を守る会・山形県山岳連盟、庄内森林管理署等13名の総勢42名で、7月8日(木)に泡滝ダムから大鳥池まで登山を実施しました。



さあ、出発～！

足下の悪い沢を通過したり、揺れる吊り橋にドキドキしたり、岩から流れ出る清水に喉を潤したりしながら、みんなそろって伝説のタキタロウ(※2)が棲むという大鳥池に到着しました。

梅雨時期で心配された天気でしたが、児童たちの元気に雨雲も吹き飛ばされたのか、次第に青空が見えてきました。

これから、岩場や大小の沢などのいくつかの難所を、お互い励まし合って越えていき、大鳥池を目指します。



足下の悪い沢を通過



揺れる吊橋を慎重に渡る

目的地の大鳥池で楽しくお昼ご飯を食べたら、来た道を引き返して下山です。山を下るときは、登るとき以上に慎重に下っていきます。

バスの待つ泡滝ダムに戻ってきたときには、さすがにみんなお疲れの様子でした。

今日のこの一日で、自然の楽しさ、厳しさ、そしてその働きなど、普段の教室では学べないことを、感じ取ってくれたらと思います。

(※1) 朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

(※2) タキタロウ：大鳥池に生息していると言われる体長2～3mの巨大魚。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

おまけーコース中に咲いていた花たちです。



タマガワホトトギス



エゾノヨツバムグラ



オカトラノオ



オオバミゾホオズキ



コシジシモツケ



ショウキラン

令和 3 年 6 月 2 8 日

令和 3 年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」のお知らせ

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター所長

梅雨の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和 3 年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」を、別紙「参加者募集」により、令和 3 年 7 月 2 2 日（木・祝）に実施いたします。

別紙「申込用紙」に必要事項を記載して、令和 3 年 7 月 1 2 日（月）17 時までに F A X 等にてお申し込みください（先着順（20 名）・定員になり次第締め切らせていただきます）。

職員・スタッフ一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者：自然再生指導官 赤澤 友光

朝日自然塾

フロが教えるイワナ釣り

参加者募集

いつ
どこで
集合

令和3年7月22日（祝）8時15分～
鶴岡市大鳥 東大鳥川とタキタロウ館
8時00分までに「タキタロウ館」
鶴岡市大鳥字高岡55-8（電話：0235-55-2452）
（現地集合となりますのでご注意ください。）

参加対象
申し込み

小中学生の親子等、一般の方**20名まで（先着順）**
朝日庄内森林生態系保全センター
（問い合わせ）電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731
Eメール tomomitsu_akasawa260@maff.go.jp（担当：赤澤）

締め切り

令和3年7月12日（月）17時まで
（先着順・定員になり次第締め切らせていただきます。）

参加費
持ち物

1人 800円（タキタロウ館利用料、障害保険料。参加人数により変更となる場合があります。）
帽子、長袖、長ズボン、タオル、長靴、着替え（川に入るのでぬれたときの履き替え運動靴も）、雨合羽、飲み物、昼食、釣り竿（持っていない方は仕掛け含む一式を、事務局で準備いたします。）、エサの持ち込みは自由です。なお、リール及びフライの使用はご遠慮願います。



○感染症対策のお願い

- ・当日、発熱や咳等がある場合は参加を見合わせてください。
- ・感染予防のため、マスクを着用して参加してください。
- ・受付時に検温・健康状態の聴き取りをさせていただきます。
- ・プログラム中も随時、手洗いや備付けの消毒液により手指の消毒を行うよう心がけてください。

プログラムの内容

- 8：15 開会式（スタッフ紹介、注意事項等の説明）
- 8：25 ・竿と仕掛け、餌の付け方
・イワナの居場所、流し方、アタリの合わせ方
・川でのルールとマナー
・溪流釣り体験（東大鳥川）
・釣り堀体験（タキタロウ館）
- 12：00 昼食（イワナの塩焼き）
- 13：00 ・イワナのさばき方体験
・イワナのおもしろい話、イワナと森林の関係
・毛針づくり体験
- 14：30 閉会式（その後現地解散）

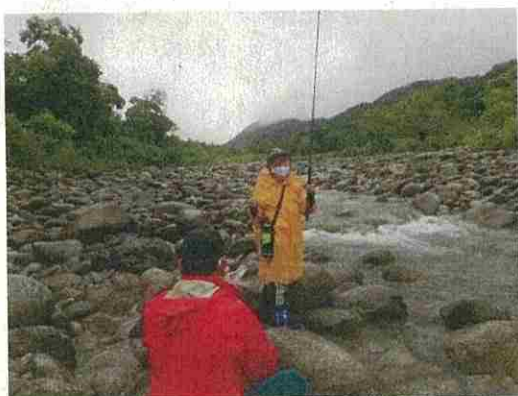
朝日自然塾 構成団体

山形県山岳連盟、出羽三山の自然を守る会
小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会
山形県内水面漁業協同組合連合会、山形県猟友会
西川町大井沢区、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館
鶴岡市朝日庁舎、東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター（事務局）



※当日のスナップ写真を資料等に使用させていただく場合がございます。

東大鳥川・タキタロウ館にて、今年はどんな体験が待っているかな？



参加申込書 (このまま送信して下さい)

FAX送付先

朝日庄内森林生態系保全センター 赤澤 あて

FAX: 0235-58-1731

朝日自然塾（イワナ釣り）の参加を申し込みます。

☐ 釣り竿の借用 希望 あり なし

(どちらかを○で囲んで下さい)

(ふりがな)
氏 名

住 所

生年月日
(保険用)

学
年

代表者の電話番号
(日中につながる連絡先)

男 子

女

男

女

男

女

※ 参加者は先着20名とさせていただきます。応募いただいた方には受付の可否等の確認を含めご連絡をさせていただきます。

令和3年7月2日

令和3年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」募集終了のお知らせ

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター所長

梅雨の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和3年6月28日に当HPにてお知らせをしました令和3年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」については、短い周知期間にもかかわらず、多くの申込をいただき、ありがとうございました。

「プロが教えるイワナ釣り」は募集人数に達したため、募集を終了させていただきます。

今回応募をしたにもかかわらず参加いただけなかった方々には、心よりお詫び申し上げます。

今年度の今後の朝日自然塾のイベントについては、新型コロナウイルス感染状況当を踏まえつつ、順次当センターHP等にてお知らせしてまいります。

職員・スタッフ一同、今後も皆さまのご参加を心よりお待ちしておりますので、引き続き「朝日自然塾」をよろしくお願いいたします。。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者：自然再生指導官 赤澤 友光

令和 3 年 7 月 1 6 日

令和 3 年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」
参加者の皆さんへ

朝日庄内森林生態系保全センター 所長

このたびは、令和 3 年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」にご応募いただきありがとうございます。

実施に当たり、下記のとおりご留意いただきたい事項を連絡いたしますので、
よろしくお願いいたします。7 月 2 2 日（木・祝）タキタロウ館前にてお待ちしております。

記

- 1 開催日は 7 月 2 2 日（木・祝）です。
集合時間・場所は、8 時 1 5 分開会式開始（受付は 8 時 0 0 分より）
タキタロウ館前です。
鶴岡市大鳥字高岡 5 5 - 8
電話：0 2 3 5 - 5 5 - 2 4 5 2
駐車場は奥の方から駐車するようお願いいたします。
- 2 持ち物は、帽子、タオル、長袖シャツ、長ズボン、長靴（濡れたときの履き替えもお持ちになることをお勧めします）、雨合羽、飲み物、昼食です。
（釣り竿（事前に希望された方）とエサは事務局で準備しますが持参しても結構です。）
なお、釣り堀では当方で用意した釣り竿をご使用いただきます。
- 3 参加費は一人 6 0 0 円です。当日受付にてお支払い願います。
- 4 悪天候などへの対応
（1）小雨の場合は予定どおり行います。ただし、開会後に天候が急変した場合はタキタロウ館に移動し、室内中心のプログラムに変更する場合があります。

あります。

- (2) 前日までの天気予報で大雨・強風等により、安全な活動や車両の運転に支障をきたすおそれがあると判断される場合は中止することとし、
7月21日(水)午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

5 感染予防対策のため、当日は検温をし、その結果を受付時に担当者にお知らせください。また、マスクを着用し、発熱や咳等があり体調が思わしくない場合は参加を見合わせるようにしてください。

6 急な事由などでキャンセルされる場合は、できるだけ早めにご連絡をお願いいたします。

前日7月21日(水)午後5時までは、

0235-58-1730 (朝日センター事務所)

当日7月22日(木・祝)は、

090-5778-3831

7 その他不明な点等については、以下にお問い合わせください。

朝日庄内森林生態系保全センター 担当：赤澤 友光

電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731

令和3年度朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」

日時 令和3年7月22日(木・祝) 8:15~14:30
場所 鶴岡市大島(タキタロウ館前東大島川)

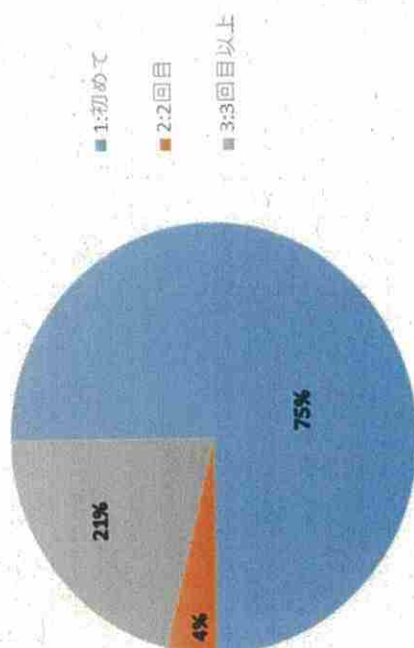
参加人数 27名
参加費 一人600円(傷害保険料、入館料含む)

時間	場所	プログラム	主な内容	担 当												備考				
				山形県溪流釣り協議会				朝日庁舎				庄内署					朝日センター			
				鈴木正	斎藤徹	斎藤篤	渡辺	長南	斎藤	斎藤	野馬	高橋	武内	菅原	鈴木		小林	所長	三上	赤澤
7:45	タキタロウ館前	・打合わせ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
8:00	タキタロウ館前	・受付															●			
8:15	タキタロウ館前	・開会式	・主催者挨拶等 ・講師・スタッフ紹介 ・4班に分かれ、餌の付け方や仕掛けと流し方を講師に教えてもらおう。 ・溪流釣りをとおして生息場所や生態、森林との関係ーイワナの生態に森林生態系が大切なことを学ぶ。	●													●	・鈴木会長から注意事項		
8:25	東大島川	・溪流釣り体験		1班	2班	3班	4班					1班 補佐	2班 補佐			3班 補佐	4班 補佐	・セーター準備品 救急薬品 消毒液等 無線機4台（渡辺、中嶋、鈴木、赤澤）		
10:30	タキタロウ館 釣り堀	・イワナ釣り体験	・釣り堀に放流したイワナの釣りの釣り					●	●	●	●						▲			
12:00		・昼食	・イワナの塩焼き														▲			
13:00	タキタロウ館 及びその周辺	・イワナのさばき方体験、毛針作り体験ほか ・イワナに関するお話し	・カッターを使ったイワナのさばき方、毛針作り、釣りなど自由行動のローテーション ・イワナの種類や不思議な生態等のお話を聞く	1班	2班 フライ 主査	3班	4班 毛針 主査	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	随時 補佐	4班 補佐	・さばき方が午前中で完了した場合は、二班に分かれて毛針作りとフライフィッシング体験をする。		
13:50				●																
14:20	タキタロウ館前	・記念撮影 ・閉会式	・講評・まとめ	●													●			
14:30		・解散															●			

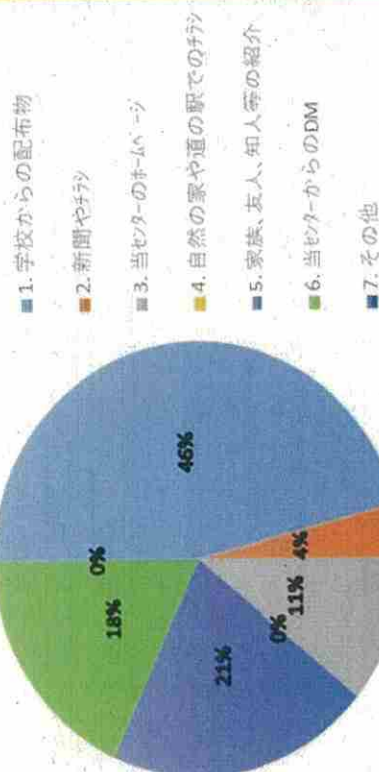
流れと各スタッフの担当内容を確認。
合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。
と判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。
査、▲は副査を表す。

令和3年度 プロが教えるイワナ釣り

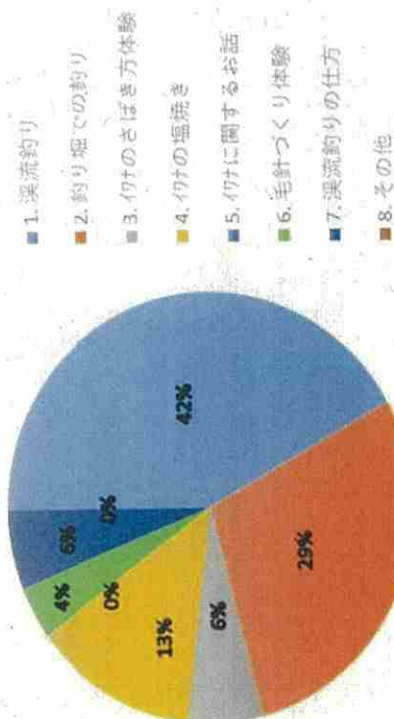
Q1.何回目の参加ですか？



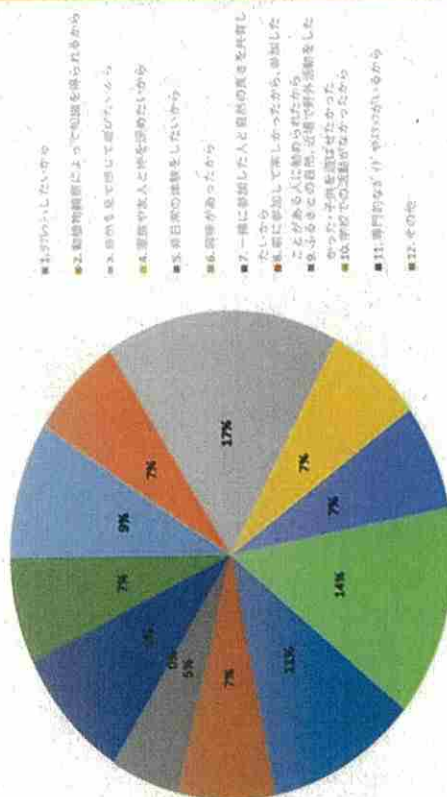
Q2.今回の自然塾をどのようにして知りましたか？



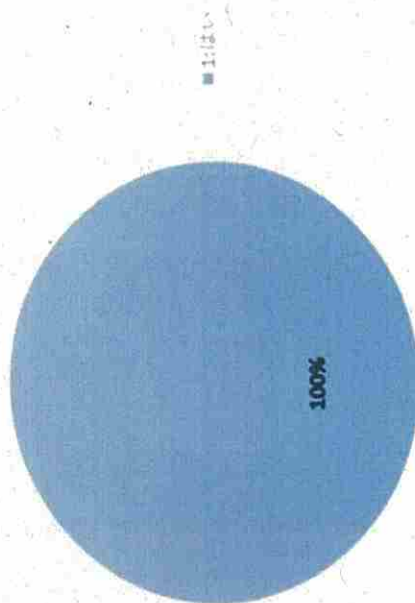
Q3.何を楽しみにしてきていましたか？



Q4.どうして来たりなくなりましたか？

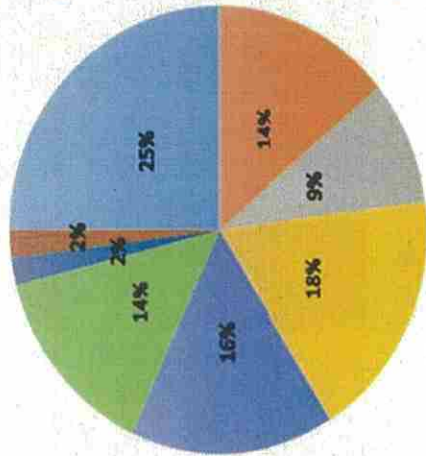


Q5.まだ、イベントに参加したいですか？



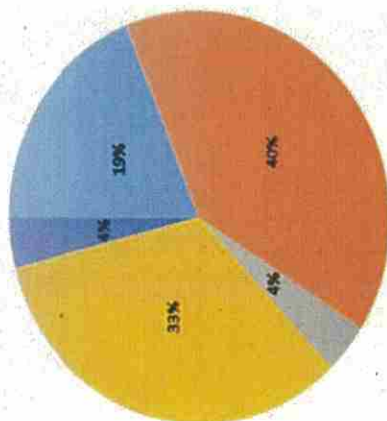
Q6.参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？

- 1.身近な自然や生き物を大切にしようと思った
- 2.Q3やQ4の期待通りだった
- 3.生き物のことや環境問題など色々知りたくなった
- 4.他のイベントにも参加したくなった
- 朝日自然塾の他の活動
- 5.他のイベントにも参加したくなった
- 自然の中でのイベント一般
- 6.将来(これから)自然を守る活動や仕事をしたくなった
- 7.今までよりも自然に申に出かけようと思った・子供を遊ばせようと思った



Q7.イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください？

- 1.クワやシャベルの要領を入れてほしい
- 2.料理体験とか食事体験をしたい
- 3.もっと詳しい話を聞きたい
- 4.生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい
- 5.違うプログラムを入れて欲しい



フロが教えるイワナ釣り

令和3年度朝日自然塾(※)が7月22日(木・祝)に、鶴岡市大鳥地区の、東大鳥川とタキタロウ館にて、山形県溪流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎、庄内森林管理署の協力を得て開催されました。当日は強力な日射しと暑さの中、10組25名が元気いっぱいに参加してくださいました。

参加者は4班に分かれ、講師の指導の下、まずは東大鳥川にて溪流釣りにチャレンジしました。



まずは溪流釣りにチャレンジ



砂熱い・・・

溪流の次は、釣り堀でイワナやニジマス釣りに挑戦。思った以上の強い竿の引きに、あちらこちらで大きな歓声が上がりました。

釣った魚は、講師の指導を受け、自分たちでさばき、食と命の厳粛な関係の一端を知ってもらいました。

さらに、午後にはフィッシングのデモンストレーション、毛針作り、イワナと森林の関係などの話を聴いたり、元気いっぱいに一日を楽しみました。

皆さん、暑い中、お疲れさまでした！



釣り堀でイワナ釣りにチャレンジ



午後は毛針作りにも挑戦

(※)朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

令和3年2月12日

令和2年度朝日自然塾「かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり」
のお知らせ

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター 所長

春寒の候、皆さまにはご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和2年度朝日自然塾「かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり」を、
別紙「参加者募集」により、令和3年3月6日(土)に実施いたします。

別紙「申込用紙」に必要事項を記載して、令和3年2月24日(水)までにFAX等
にてお申し込みください(先着順(20名)・定員になり次第締め切らせていただきます)。

職員・スタッフ一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

朝日庄内森林生態系保全センター

Tel : 0235-58-1730 Fax : 0235-58-1731

担当者：自然再生指導官 赤澤 友光

かんじきトレッキング&めのうでアクセサリーづくり

いつ	令和3年3月6日(土) 9時30分～
どこで	西川町大井沢「自然と匠の伝承館」 山形県西村山郡西川町大字大井沢4110 電話：0237-76-2112
募集人数	小中学生の親子等、一般の方20名(先着順)
申し込み	朝日庄内森林生態系保全センター 電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731 Eメール tomomitsu_akasawa260@maff.go.jp (担当：赤澤)
締め切り	令和3年2月24日(水) 17時まで (先着順・定員になり次第締め切らせていただきます。)
参加費	1人 2,000円(障害保険料、入館料、アクセサリーづくり体験料等) (参加費は参加人数により変更となる場合があります。)
持ち物	防寒着、帽子、手袋、長靴、タオル、着替え、飲み物、昼食(近隣に飲食店、コンビニ等はありません) ※かんじきは当方で用意しています。



○感染症対策のお願い

- ・当日、発熱や咳等がある場合は参加を見合わせてください。
- ・受付時に検温、健康状態の聴き取りをさせていただきます。
- ・感染予防のため、マスクを着用して参加してください。
- ・プログラム中も随時、手洗いや備付けの消毒液により手指の消毒を行うよう心がけてください。

プログラムの内容

- 9:30 開会式「自然と匠の伝承館」
- 9:45 ・メープルシロップの採り方と作り方
- 10:10 ・かんじきトレッキング
かんじきで森を歩きながら、動物の足跡や木々の冬芽の観察、途中の斜面でそり遊びをしよう。
- 12:30 昼食
- 13:15 大井沢自然博物館見学・缶バッジづくり(当日の写真を使います)・標本観察と昆虫のおもしろい話
・めのうでアクセサリーづくり体験(注)
- 15:30 まとめ・閉会式

※荒天時は屋内のみのプログラムに変更します。

(注) めのうアクセサリーは体験終了後、磨き作業があるため当日のお持ち帰りはできません。後日、郵送となります。

朝日自然塾 構成団体

山形県山岳連盟、出羽三山の自然を守る会
小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会
山形県内水面漁業協同組合連合会、山形県猟友会
西川町大井沢区、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館
鶴岡市朝日庁舎、東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)



※当日のスナップ写真を資料等に使用させていただく場合がございます。

※新型コロナウイルス感染症について、実施日の2週間前程度に西川町で感染者が発生した際は中止とする場合があります。著しい荒天時も中止とする場合があります。実施時もプログラムを変更する場合があります。

令和3年3月1日

令和2年度朝日自然塾

「かんじきトレッキング&めのものでアクセサリーづくり」

参加者の皆さんへ

朝日庄内森林生態系保全センター所長

このたびは、令和2年度朝日自然塾「かんじきトレッキング&めのものでアクセサリーづくり」にご応募いただきありがとうございます。

実施に当たり、下記のとおりご留意いただきたい事項を連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。3月6日（土）自然と匠の伝承館にてお待ちしております。

記

- 1 開催日は3月6日（土）です。

集合時間・場所は、9時30分開会式開始（受付は9時15分より）

「自然と匠の伝承館」です。

山形県西村山郡西川町大字大井沢4110

電話：0237-76-2112

- 2 持ち物は、防寒着、帽子、手袋、タオル、着替え、飲み物、昼食です。

（近隣に飲食店、コンビニ等はありません。）

かんじきは当方で用意いたします。

- 3 参加費は一人2,000円です。当日受付にてお支払い願います。

- 4 悪天候などへの対応

（1）小雨等の場合は予定どおり行います。ただし、開会後に天候が急変した場合は自然と匠の伝承館に移動し、室内中心のプログラムに変更する場合があります。

（2）前日までの天気予報で暴風雪等により、安全な活動や車両の運転に支

障をきたすおそれがあると判断される場合は中止することとし、3月5日（金）午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

（3）新型コロナウイルス感染症拡大について、西川町に感染者が発生するなど、感染状況が悪化した場合には、直前であっても中止する場合があります。その場合は3月5日（金）午後5時までに、その旨電話連絡いたします。

（4）予定していたメープルシロップづくりと缶バッジづくりは諸般の事情により行わないこととなりましたのでご了承願います。

5 感染対策のため、マスクを着用し、発熱や咳等があり体調が思わしくない場合は参加を見合わせるようにしてください。また、受付時に「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート」記入の協力をお願いいたします（検温と過去2週間の状況等）。

6 急な事由などでキャンセルされる場合は、できるだけ早めにご連絡をお願いいたします。

前日3月5日（金）午後5時までは、

0235-58-1730（朝日センター事務所）

当日3月6日（土）は、090-5778-3831

7 その他不明な点等については、以下にお問い合わせください。

朝日庄内森林生態系保全センター 担当：赤澤 友光

電話：0235-58-1730 FAX：0235-58-1731

令和2年度朝日自然塾

「かんじぎトレッキング&めのでアクセサリーづくり」(案)

(晴天時)

日時 令和3年3月6日(土) 9:30~15:30

参加人数 20名

※スタッフは9時集合(センター8時発)

場所 西川町自然と匠の伝承館集合・解散

参加費 一人2,000円(入館料・めのでアクセサリーづくり体験料・傷害保険料含む)

時間	場所	プログラム	主な内容	担 当							備考			
				西川町自然と匠の伝承館・自然博物館			西川町		朝日庄内森林生態系保全センター					
				福田	志田	高橋	前田	上野	秋山	三上		赤澤	鈴木	
9:00	伝承館	・打合せ	・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・センター準備品 衛星携帯電話：1 無線機：4 救急薬品：1	
		・参加車両誘導	・参加車両誘導									▼		▼
		・受付	・受付								▼	●		●
			・主催者挨拶									●		
9:30		・開会式	・館長挨拶 ・講師・スタッフ紹介											
9:45		・移動									●		注意事項含む	
10:00	旧小学校～ 瀬原～旧小 学校	・かんじぎトレッキ ング	・かんじぎのはき方・歩 き方を学ぶ	●	●						●	●		
			・動物の足跡や冬芽を観 察し、里山の森林環境 (生態系)を学ぶ	●	●					●	●	●		
			・雪の斜面でそり遊び	●	●					●	●	●		
12:10		・昼食												
13:00		・めのうアクセサ りーづくり	・西川町の巧人より指導 を受け体験			▼								
		・昆虫標本とその説 明等	・地域の自然を学習			▼			●					
15:00		・閉会式	・講評・まとめ									●	・記念撮影	

※打ち合わせは、全体の流れと各スタッフの担当内容を確認。

※イベントは小雨決行。但し、開会後、天候が急変した場合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。

※前日の天気予報で、吹雪や豪雪等、移動や活動の安全に支障を来す恐れがあると判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。

※トレッキングコースはスノーモービル借り上げにより圧雪をする予定(3月4日)。

※●は主査、▲は副査を表す。

令和2年度朝日自然塾 「かんじきトレッキング&めめのでアクセサリーづくり」 (案) (荒天時)

日時 令和3年3月6日(土) 9:30~15:30 ※スタッフは9時集合(センター8時発)

場所 西川町自然と匠の伝承館集合・解散 参加人数 17名 参加費 一人2,000円(入館料・めめのでアクセサリーづくり体験料・傷害保険料含む)

時間	場所	プログラム	主な内容	担 当							備考			
				西川町自然と匠の伝承館・自然博物館				西川町		朝日庄内森林生態系保全センター				
				福田	志田	高橋	前田	上野	秋山	三上		赤澤	鈴木	
9:00	伝承館	・打合せ	・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	・センター準備品		
		・参加車両誘導	・参加車両誘導						●	▼	▼	衛星携帯電話：1		
		・受付	・受付						▼	●	●	無線機：4		
9:30		・開会式	・主催者挨拶									救急薬品：1		
			・館長挨拶											
9:40		・めめのでアクセサリーづくり ・昆虫標本とその説明等 ・昼食	・講師・スタッフ紹介								●		注意事項含む	
			・西川町の巧人より指導を受け体験		▼		●							
			・地域の自然を学習		▼		●							
11:50		・閉会式	・講師・まとめ										・記念撮影	
13:00											●			

※打ち合わせは、全体の流れと各スタッフの担当内容を確認。

※イベントは小雨決行。但し、開会後、天候が急変した場合は屋内中心のプログラムに変更、昼食後に記念撮影、閉会式を行う。

※前日の天気予報で、吹雪や豪雪等、移動や活動の安全に支障を来す恐れがあると判断した場合は、前日17時までに参加者・スタッフに中止の連絡をする。

※天候の状況によってトレッキングが無理な場合でも、可能であれば小学校前でかんじき体験を行う。

※●は主査、▲は副査を表す。

令和2年度朝日自然塾

かんじきトレッキング&

めのうアクセサリーづくり



令和3年3月6日(土)

西川町大井沢地区 カッチャバ湿原、自然と匠の伝承館



かんじきスノートレッキング



冬芽観察 動物の足跡探索



そり遊び



めのうアクセサリー作り

朝日自然塾連絡協議会

山形県溪流釣り協議会 山形県内水面漁業協同組合連合会 鶴岡市朝日庁舎

山形県山岳連盟 出羽三山の自然を守る会 小国の自然を守る会 山形県猟友会

西川町大井沢区 西川町自然と匠の伝承館大井沢自然博物館

東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター(事務局)

プログラム

9:30 にしかわまち しぜん たくみ でんしょうかん かいかいしき 西川町 自然と匠の伝承館において開会式

9:45 移動

10:00 かんじキトレッキング

旧小学校からカッチャバ湿原しつげんに向かい冬の森の中を歩きます

・かんじきの履き方はきかたと歩き方あるきかた

・樹木じゅもくの冬芽とうがを観察かんさつします

・雪の上に残った動物どうぶつの足跡あしあとを観察かんさつします

・肥料袋ひりょうぶくろなどでそりすべり

・高台たかだいに登のぼって記念撮影きねんさつえい

12:10 ちゅうしょく 昼食 (自然しぜんと匠たくみの伝承館でんしょうかん)

13:00 午後は班に分かれて行動します。

○めのうアクセサリー作り

・自分で原石げんせきを選び、めのう巧人こうじんの手ほどきを受けてオリジナルな
アクセサリー等を作ります

おいさわし ぜんはくぶつかんけんがく
○大井沢自然博物館見学

・自然ほうこの宝庫 大井沢の動物どうぶつ・植物しょくぶつ・鉱物こうぶつなどを見学けんがくします

こんちゅうはかせ こんちゅうきょうしつ
○昆虫博士の昆虫教室

・コレクションを見ながら昆虫ふしぎの不思議な世界せかいのお話を聞きます

15:00 へいかいしき きねんしゃしんさつえい 閉会式・記念写真撮影

へいかいしきしゅうりょうごげん ちかいさん
閉会式終了後現地解散

ちゅういじこう 注意事項

- ① かんじきトレッキングでは雪原^{せつげん}を歩きますので、防寒対策^{ぼうかんだいさく}や長靴^{ながぐつ}などに雪が入らないようにするなど対策^{たいさく}をして下さい。
- ② 汗^{あせ}をかいて下着^{したぎ}が濡^ぬれてしまうと体温^{たいおん}が奪^{うば}われ、低体温症^{ていたいおんしょう}になるおそれがあります。かんじきトレッキング体験^{たいけん}後^ごすぐに用意^{ようい}した着替え^{きが}に着替^{きが}えて下さい。
- ③ 昼食^{ちゅうしょく}時^じにお湯^{ようい}を用意^{ようい}いたしますが、一度^{いちど}には希望^{きぼう}する方^{かた}全員^{ぜんいん}分^{ぶん}を用意^{ようい}できない場合があります。あらかじめ御了^{ごりょう}承^{しょう}下さい。
- ④ めのうアクセサリ作りではコロナウイルス感^{かん}染^{せん}症^{しょう}予^よ防^{ぼう}の観^{かん}点^{てん}から班^{はん}分けいたします。講師^{こうし}の指^し示^じに從^{したが}って行^{こう}動^{どう}して下さい。

大井沢自然博物館

自然博物館は、昭和26年の大井沢小中学校の自然研究が始まりとなり、小中学生と地域が作り上げた手作りの博物館です。

朝日連峰をはじめ大井沢を中心とした貴重な動植物の標本が展示されています。



展示コーナー

植物

大井沢博物館や月山・朝日連峰で見られる四季の植物を紹介しています。

哺乳類

大井沢を中心に生息する哺乳類26種のはく製標本を展示しています。ツキノワグマやカモシカのような大型動物からホンドオコジョ、ヤマネのような小動物までそろっています。

魚類

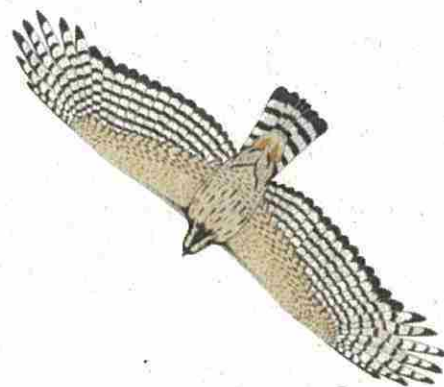
月山・朝日連峰を源とする寒河江川やその上流に位置する大井沢は、昔から豊かな水を育む森が、多くの魚たちの営みを支えてきた上流地域となっています。

大井沢博物館では、寒河江川上流や寒河江ダム(月山湖)に生息する魚類標本や川をテーマとした様々な活動を見ることが出来ます。博物館内には、昭和40年代の石膏法による体長55センチのイワナのはく製が展示されています。

鳥類

大井沢周辺にはミソサザイのような小型の鳥から、ワシやタカなどの大型の鳥まで生息しています。

博物館内には昭和30年代から地域の人々が収集してきた約115種のはく製標本を展示しております。特に猛禽類に関しては、県内トップレベルの充実ぶりで、イヌワシとクマタカの剥製がそろっています。



自然と匠の伝承館

自然と匠の伝承館は、農山村の生活文化や伝承技術を伝承する体験型の生涯学習施設です。巧人の工房見学のほか、予約に応じ、メノウ細工、月山和紙、土鈴絵付け、草木染、機織、リース作り、木の実細工、こけし絵付け、あけび蔓細工などが体験できます。

月山和紙

出羽三山信仰で賑わった江戸時代より月山和紙づくりが始まりました。明治時代には200戸以上が冬期間の貴重な現金収入源として紙漉を行っていましたが、現在は、僅か数人が月山和紙を引き継いでいます。草花を入れて漉くこともできます。きれいで楽しい作品を作ってみてください。



土鈴絵付け

土鈴は、古代より伝わる土を固め焼いて作った鈴で、音色は素朴な音がします。干支を描いてある鈴もご用意しておりますが、自分でオリジナルの絵を描いて楽しむことができます。

メノウ細工

月山メノウは、ブナの原生林を源とする朝日山麓の根子沢上流で発見されました。土地の人達は昔からこの石を飾り石として床の間や玄関先に飾っていました。特に大井沢は赤褐色をした品質の良いジャスパーがとれます。体験では、地球がつくった石の切断から研磨して自分だけのオリジナルの作品が作れます。



こけし絵付け

大井沢の木地業は明治32年に、志田五郎八氏が集落の振興のために、秋田県川連より木地職人を招いて始まりました。はめ込み中央胴細菊くずし胴模様の大正時代の復元こけしは“菊麻呂こけし”として親しまれています。個性あふれる「こけし絵付け」にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



草木染め

紅花・藍・紫根・茜などの植物染料のほとんどが漢方薬です。布を染めるという事は生命力のあふれた植物のエネルギーを布に移し、身を守るという自然とともに生きた先人の知恵だったようです。四季折々の植物により本来の意味を考えながら、健康的で楽しい草木染めの体験です。簡単な絞りから、縫い絞り、板締め絞りなどが体験できます。



つる細工(あけび・山ブドウ)

山ブドウのつるで編んだ籠は弾力性に富み、色と感触が良く、使えば使うほど艶が出てきます。体験では簡単にできる小作品が作れます。



リース作り

大井沢周辺の木の実や草花、自家栽培の花やハーブを使ってリースやトピアリーを作っています。大井沢を流れる寒河江川の流木を使ったり、素材を求めて散策するのも楽しみのひとつです。伝承館での体験の他、出張教室もあります。



木の実細工・絵手紙

冬の豪雪と吹雪に耐え、春には可憐な花々で山を彩り、秋には実りの時を迎えてたくさんの種子を作ります。そんな木の実たちと会話するように、大小の様々な形・大きさの材料を使って、ブローチやペンダント、キーホルダー、短冊などを作ってみましょう。



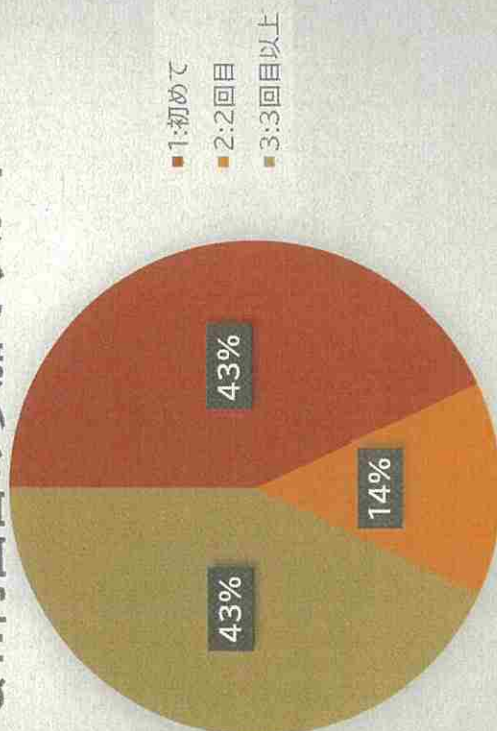
かんじぎトレッキング 散策ルート

冬芽の観察・アニマルトラッキング

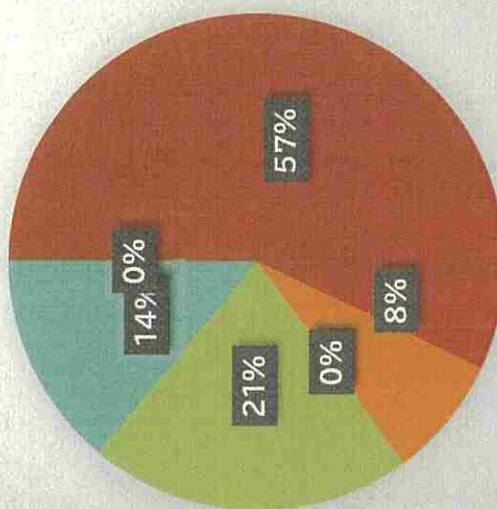


令和2年度 めのうでアクセサリーづくり&かんじきトレッキング

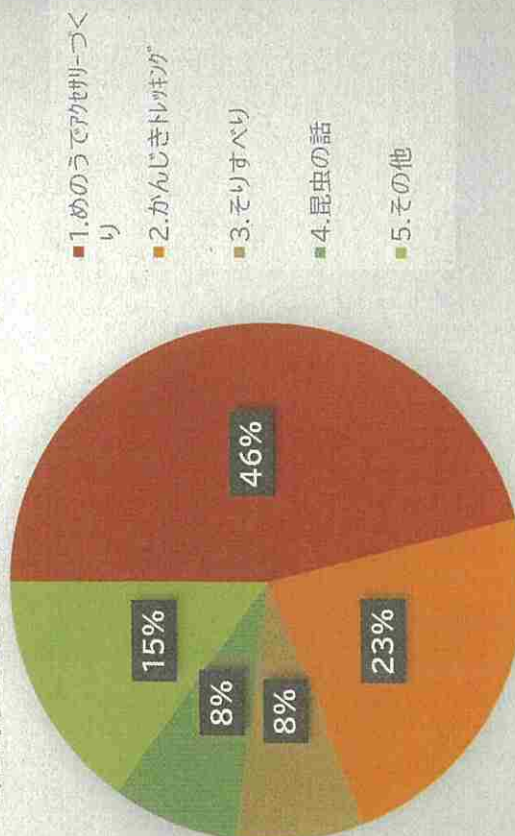
Q1.何回目の参加ですか？



Q2.今回の自然塾をどのようにしてしましたか？



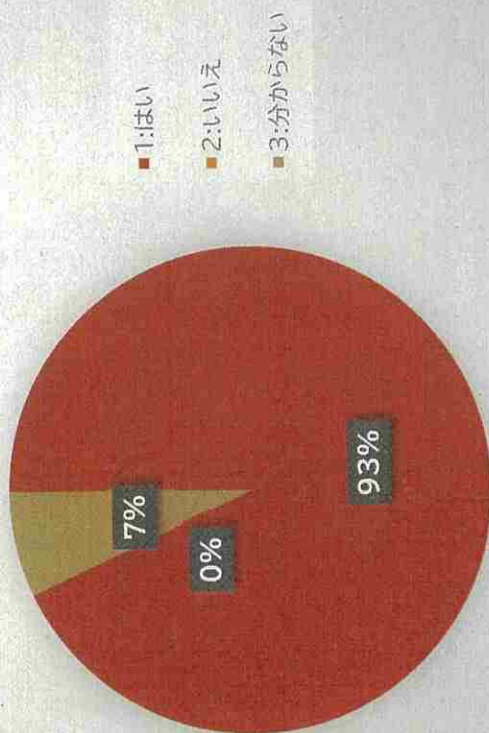
Q3.何を楽しみに来ましたか？



Q4.どうして来たくありませんでした？

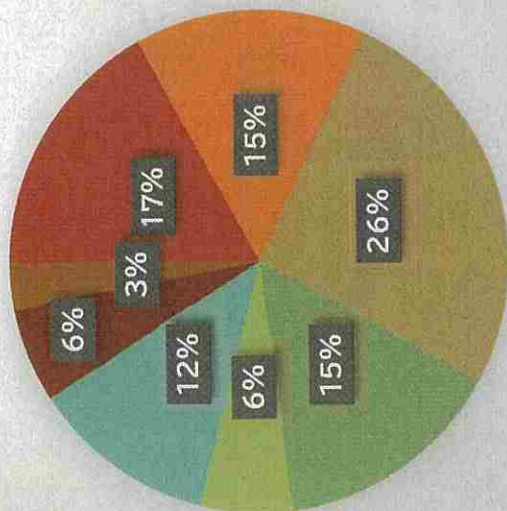


Q5. また、イベントに参加したいですか？



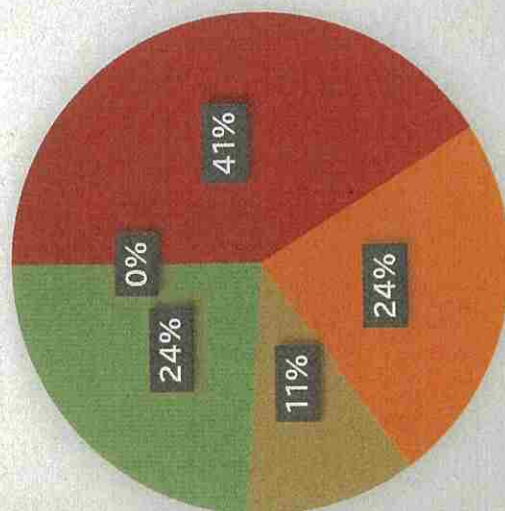
Q6. 参加して思ったこと、気持ちの変化等ありましたか？

- 1. 身近な自然や生き物を大切にしようと思った
- 2. Q3やQ4の期待通りだった
- 3. 生き物のことや環境問題など色々知りたくなった
- 4. 他のイベントにも参加したくなった
- 朝日自然塾の他の活動
- 5. 他のイベントにも参加したくなった
- 自然の中のイベント一般
- 6. 将来(これから)自然を守る活動や仕事をしたくなった
- 7. 今までよりも自然の中に出かけようと思った、子供を遊ばせようと思った
- 8. その他



Q7. イベントの要望として当てはまるものがあれば教えてください

- 1. クイズやゲームの要素を入れてほしい
- 2. 料理体験とか食事体験をしたい
- 3. もっと詳しい話を聞きたい
- 4. 生き物に触れたり花の香りを嗅いだりしたい
- 5. 違うプログラムを入れたい



かんじきトレッキング & めのうでアクセサリーづくり

令和2年度朝日自然塾(※)を、3月6日(土)に西村山郡西川町大井沢にて、朝日自然塾連絡協議会の西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館の協力を得て開催しました。

当日はやや雲が多いものの、風もなく穏やかな天気のもと、小学生の親子6組14人の参加をいただきました。



トレッキング中に冬芽の説明



途中の斜面でそり遊び

かつての雪国の生活に欠かすことのできなかったかんじきを履いて雪に埋もれた里山をみんなでトレッキング。

途中、講師の説明を聞きながら、春を待つてふくらんだ木々の冬芽を観察したり、キツネやウサギの足跡を見つけながら歩きました。

途中の少し開けた斜面では、スタッフが用意した肥料用のビニール袋を使ったそり遊びで歓声をあげました。

午後からは2班に分かれ、西川町匠の伝承館・大井沢自然博物館において、「め のうでアクセサリーづくり体験」と「昆虫博士によるおもしろい昆虫の話」を楽しみました。

「め のうでアクセサリーづくり体験」は職人さんが一人一人に丁寧に作業方法を教えてくれ、それぞれ思い思いの自分だけのアクセサリーをつくりました。



め のうでアクセサリーづくり



昆虫のおもしろい話に聞き入る

アクセサリーをつくっている間、もう一つの班は昆虫博士による「おもしろい昆虫の話」を聴きました。世界中の珍しいカブトムシやクワガタムシ、それに美しい蝶や蛾を中心としたさまざまな標本に、みんな釘付けになりました。

最後の、生きた昆虫に触れる体験では、歓声を上げる子、おっかなびっくりの子、反応はさまざまでしたが、みんな興味津々の様子でした。

屋外のかんじきトレッキング、屋内のアクセサリーづくりと昆虫の話、1日を遊び尽くし、学び尽くして、少しお疲れの中、閉会式と記念撮影をしてお開きとなりました。

参加いただいた皆さん、講師の皆さん、たいへんお疲れさまでした。ありがとうございました。



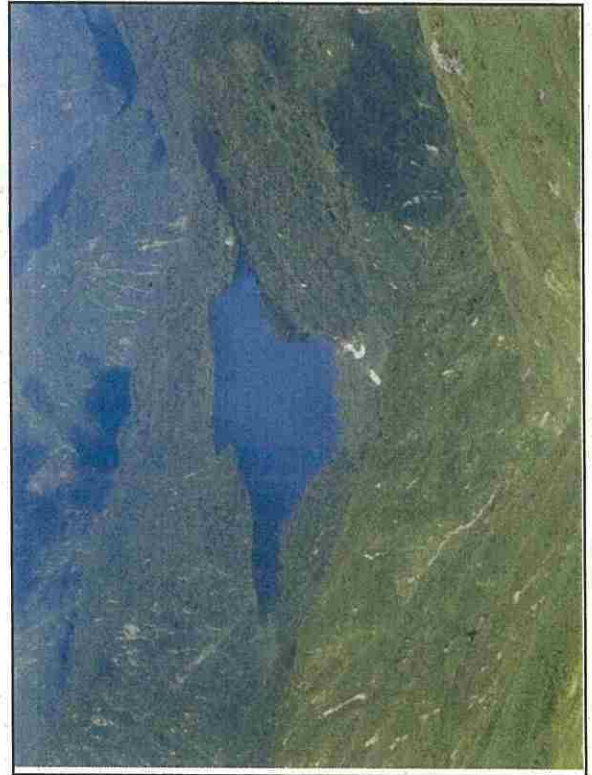
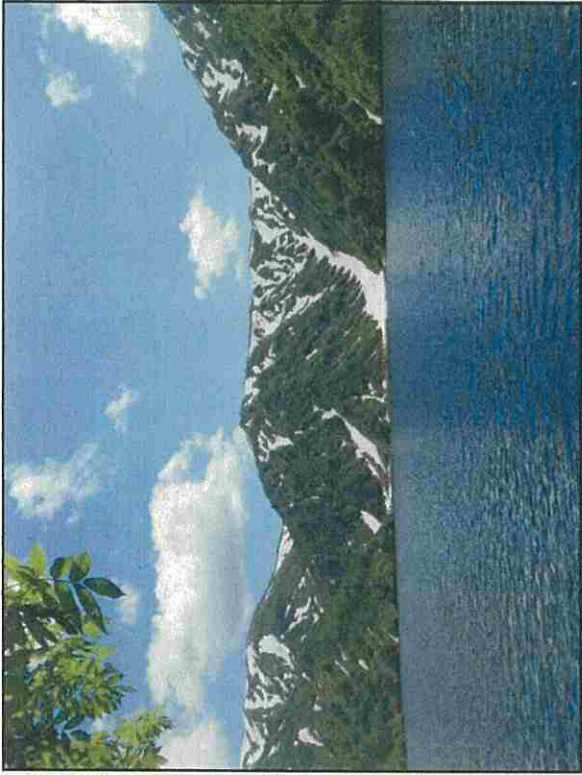
参加者全員で記念撮影

(※)朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

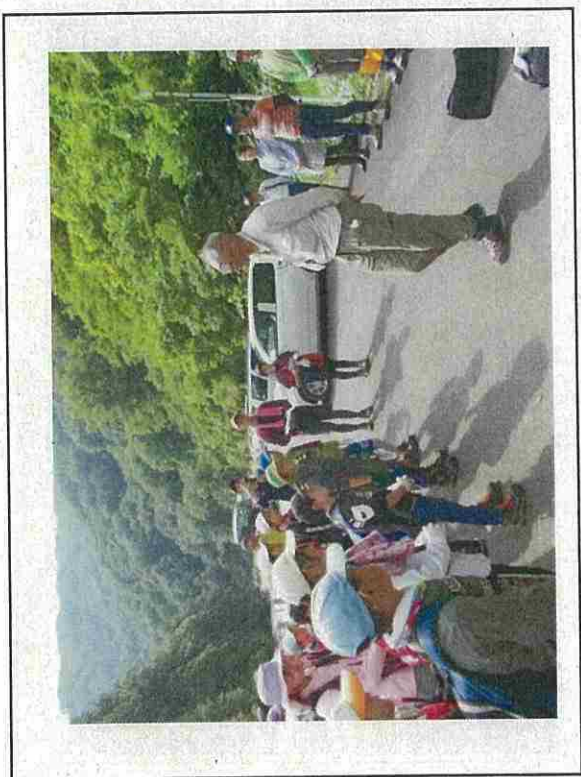
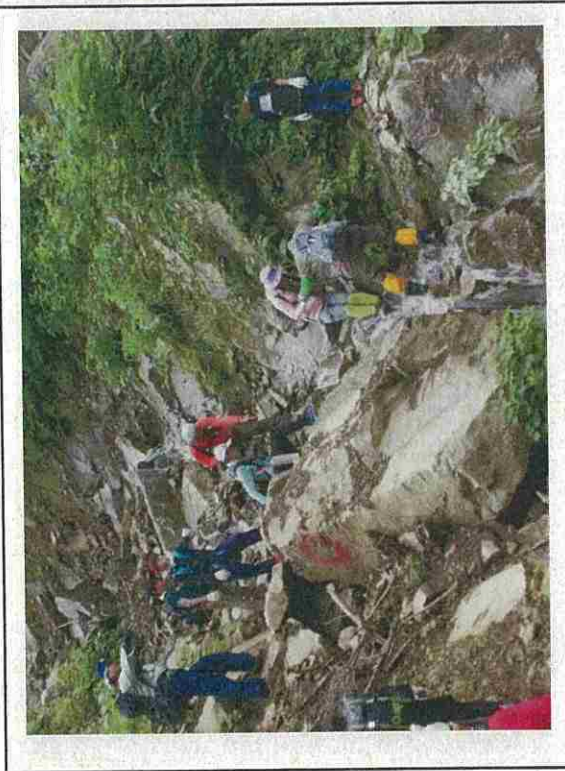
朝日自然塾「みんなで歩こう タキタロウへの道」

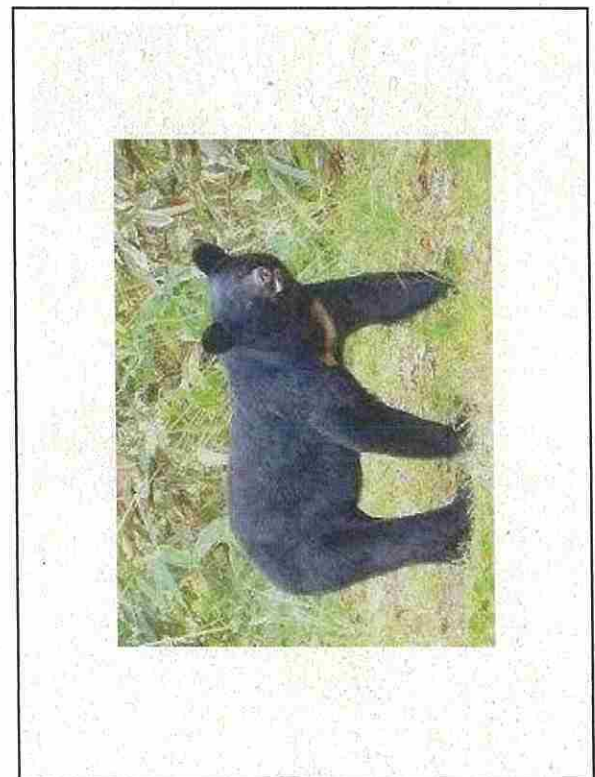
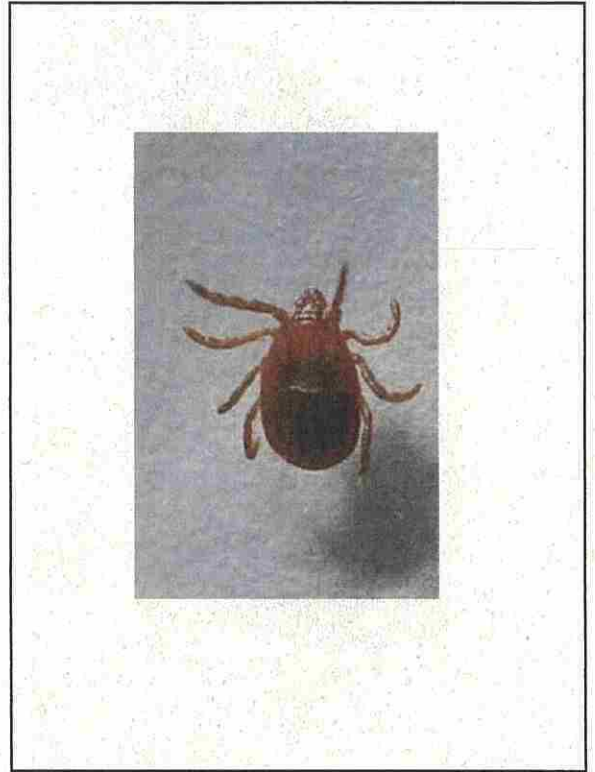
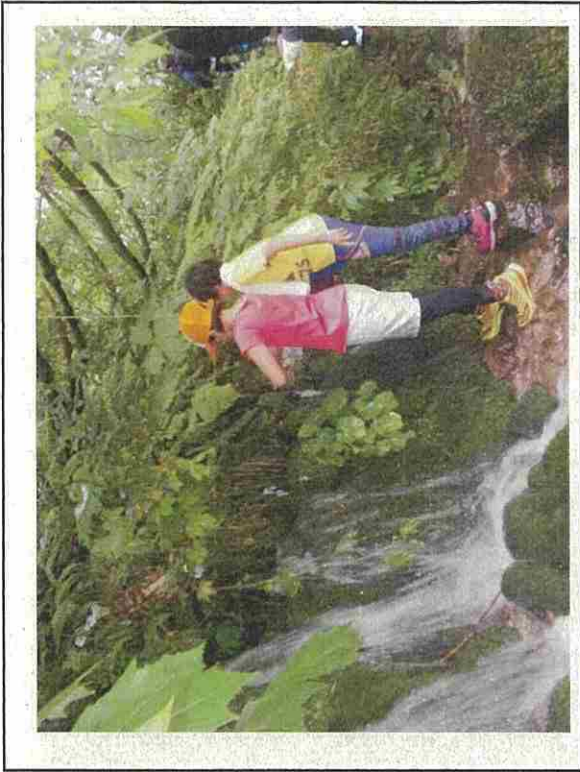
・朝日庄内森林生態系保全センター
・自然再生指導官 赤澤 友光

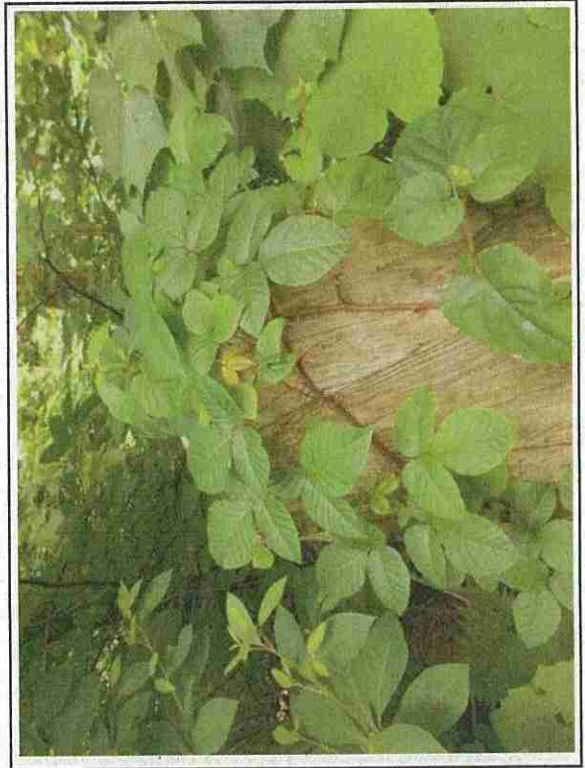
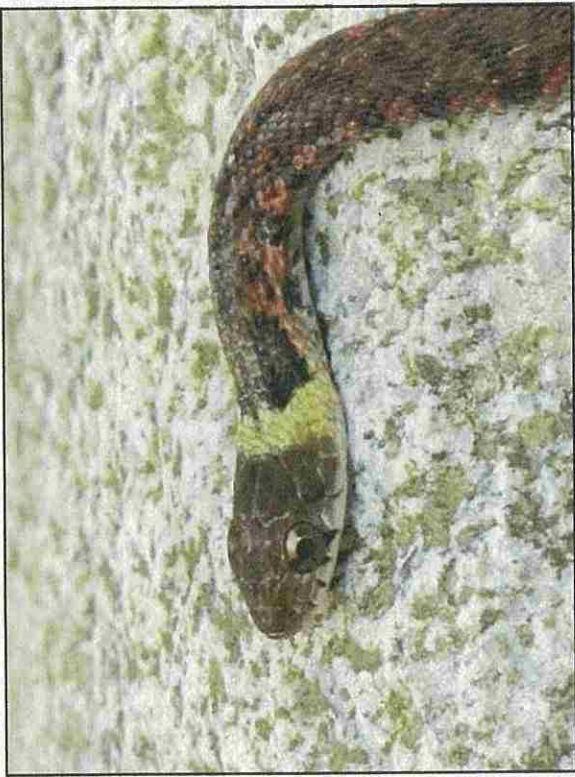


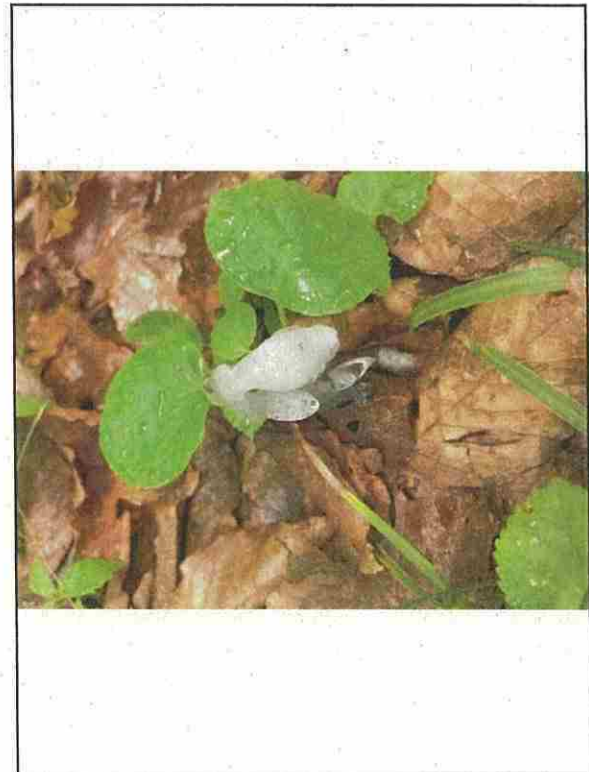
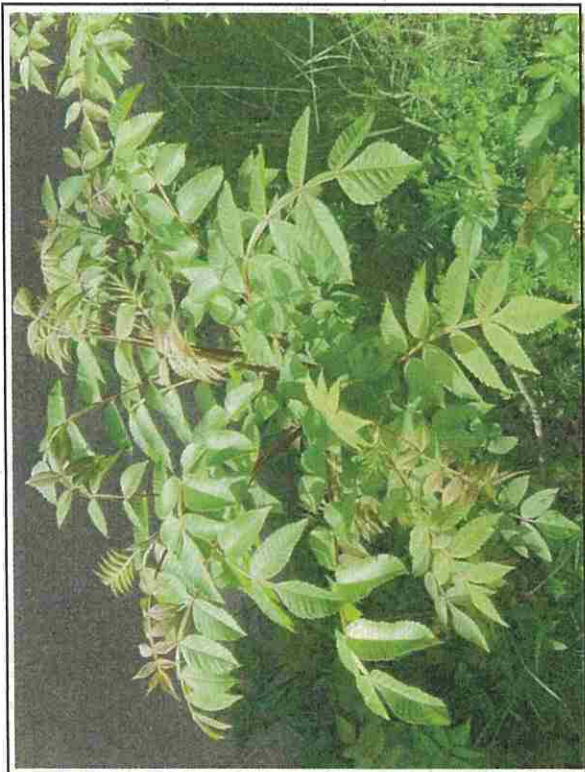
昭和60年に捕獲された謎の大物
(大島 タキタロウ館)

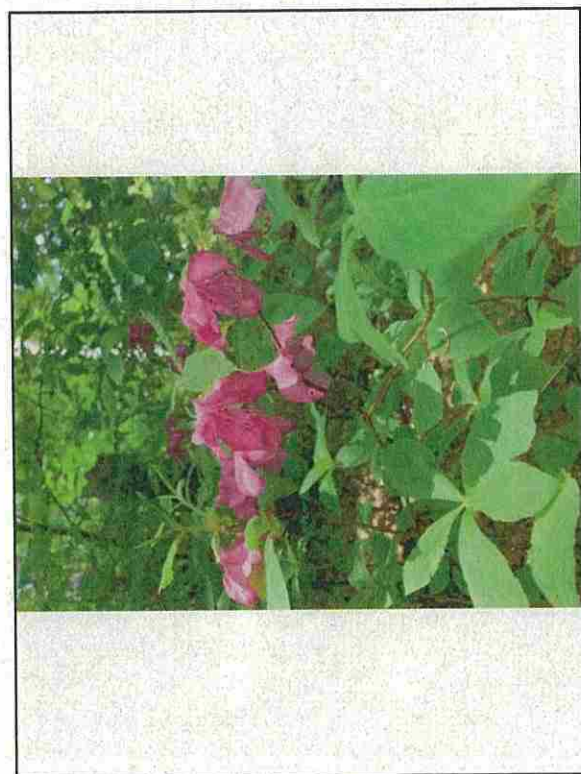
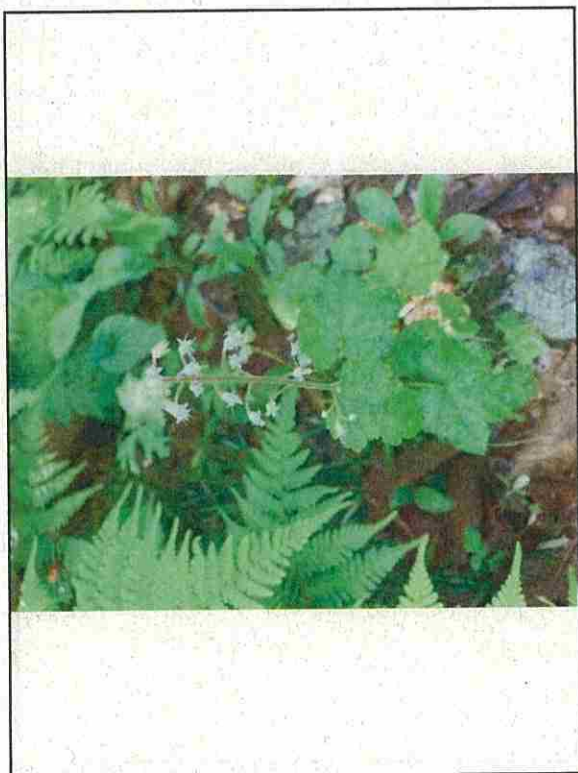
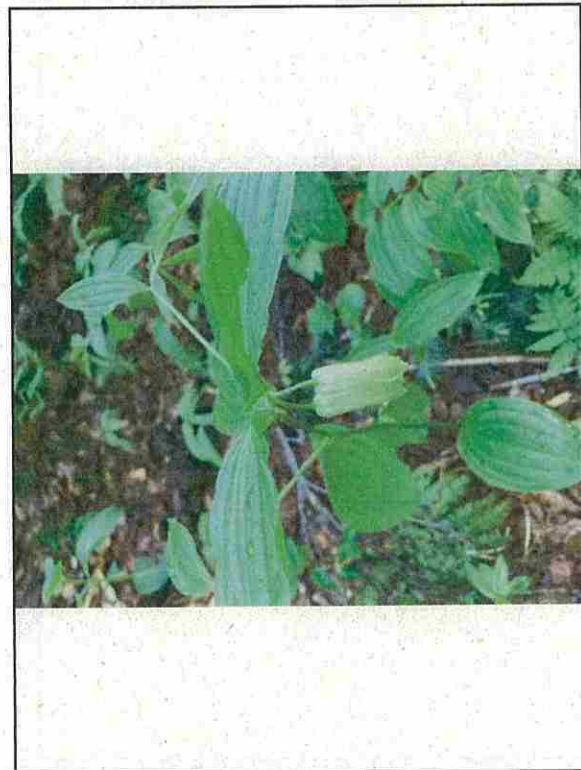
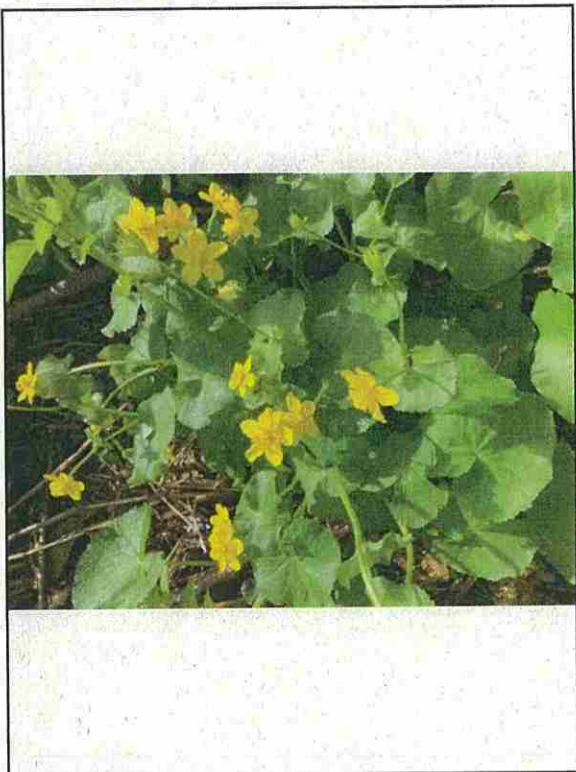
- ・大島池にはタキタロウが棲んでいるという伝説があります。
- ・昭和57年7月「以東岳登山」の時、直登コースの尾根から、タキタロウらしい巨大魚が複数目撃され、詳しい調査の末捕獲された謎の大物。

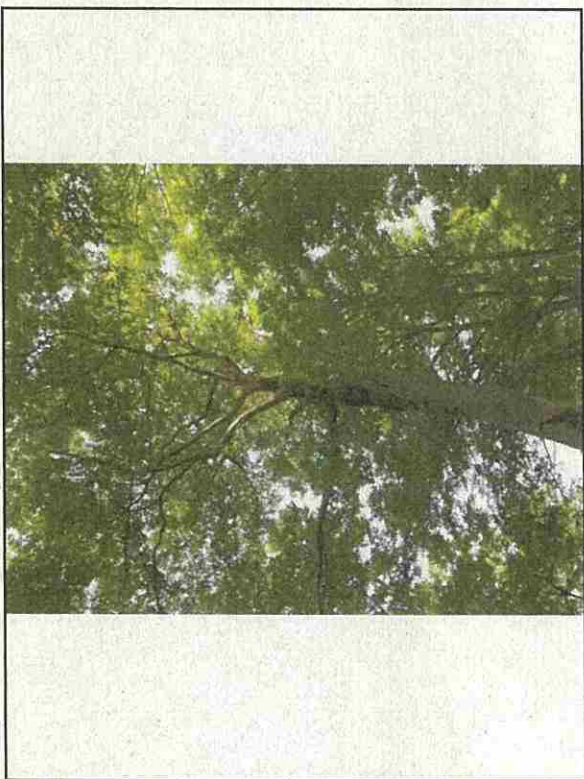








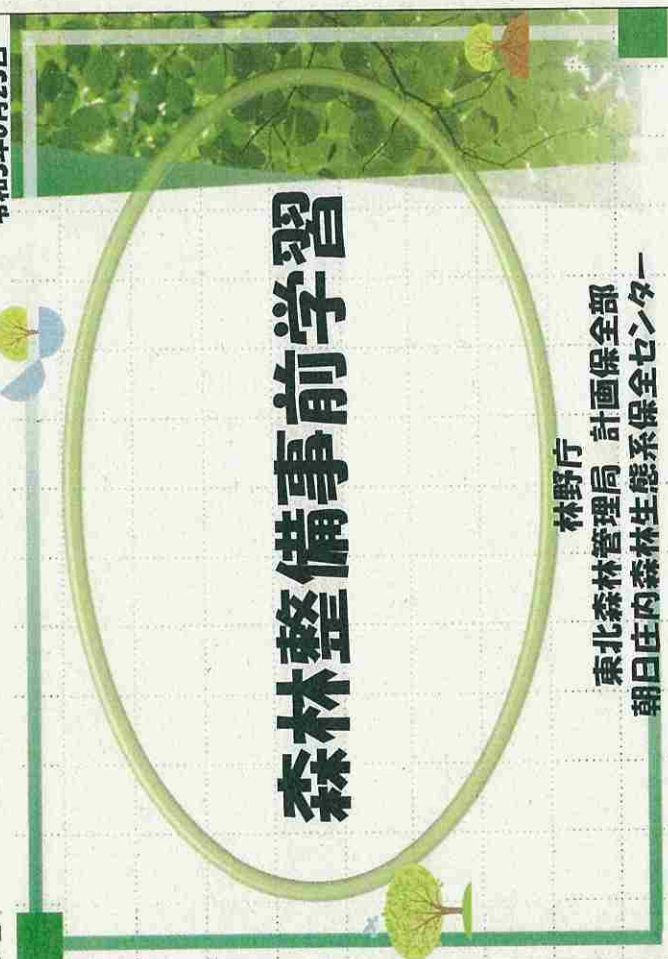




この続きは山を歩いて、
自分の田で確かめよう！

森林整備事前学習

林野庁
東北森林管理局 計画保全部
朝日庄内森林生態系保全センター



目次

森林の分布

森林の働き

森林の整備

森林の分布



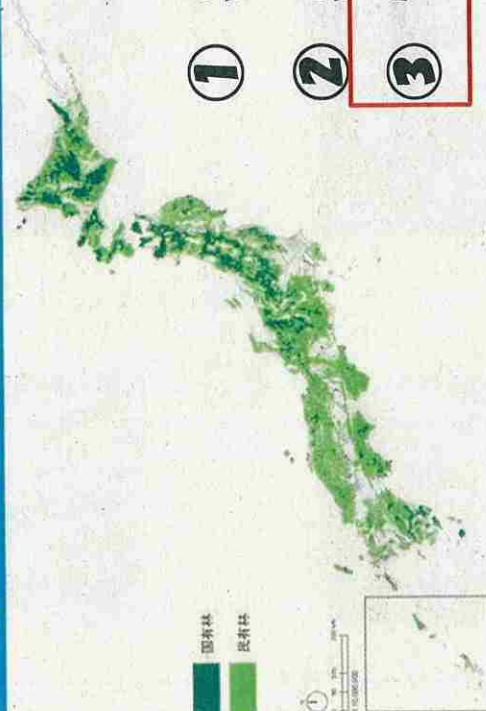
日本では陸地の何%が森林なの？



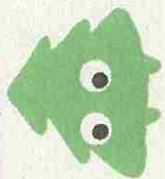
① 30%

② 50%

③ 70%



山形県内では陸地の何%が森林なの？



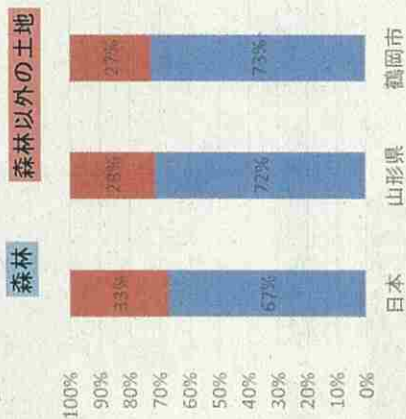
① 30%

② 50%

③ 70%

森林率

森林率:土地の面積の内森林の面積が占める割合
日本は世界有数の森林国です



鶴岡市の木は？

① スト

② サクラ

③ クロマツ



森林の働き

森林の機能って何？

全部正解！！

- ① 災害を防ぐ機能
- ② 水源を育む機能
- ③ 温暖化を防ぐ機能



こんなにもあるよ森林の機能

貨幣評価できる一部の機能だけでも年間 70兆円



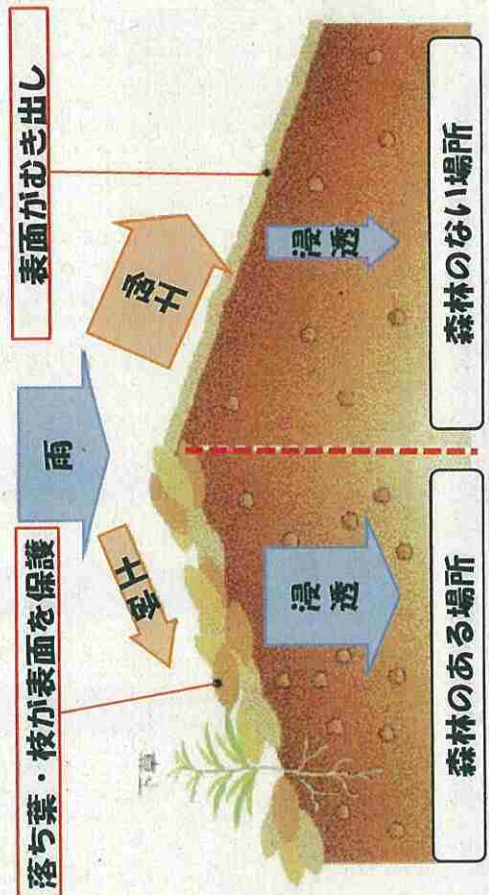
1. 災害を防ぐ機能

森林がある場所はない場所に比べて土が…

- ① 流れやすい
- ② 流れにくい

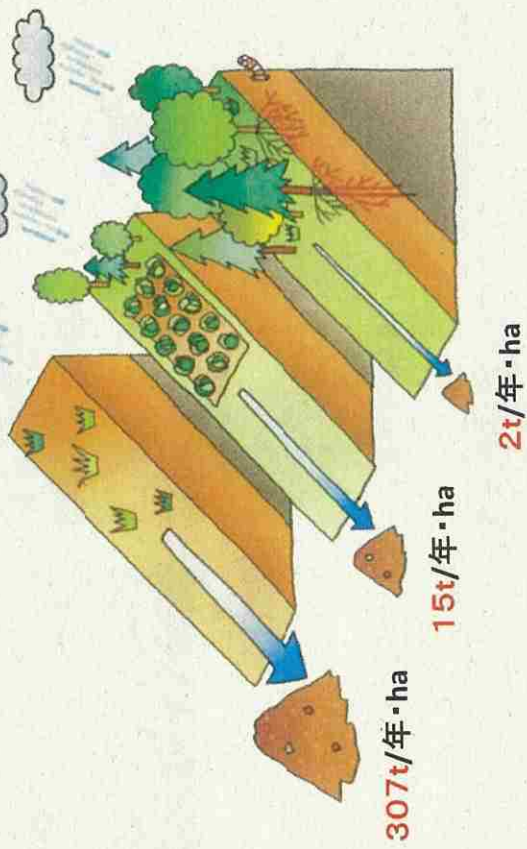
1. 災害を防ぐ機能

② 流れにくい

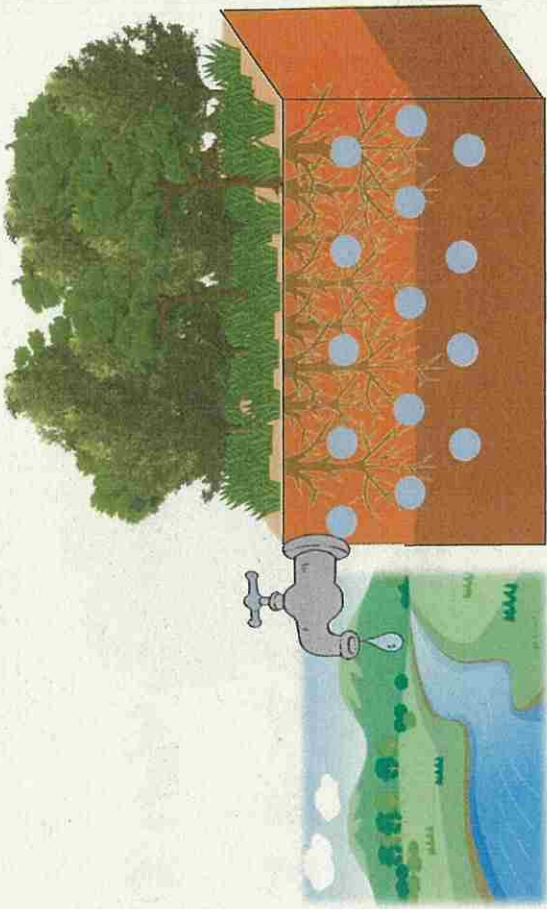


1.災害を防ぐ機能

②流れにくい

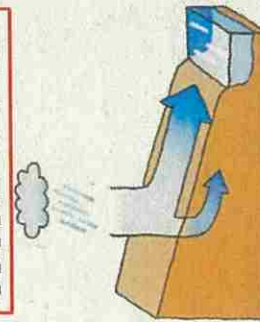


2.水源を育む機能



2.水源を育む機能

森林がない土



川の水量

時間

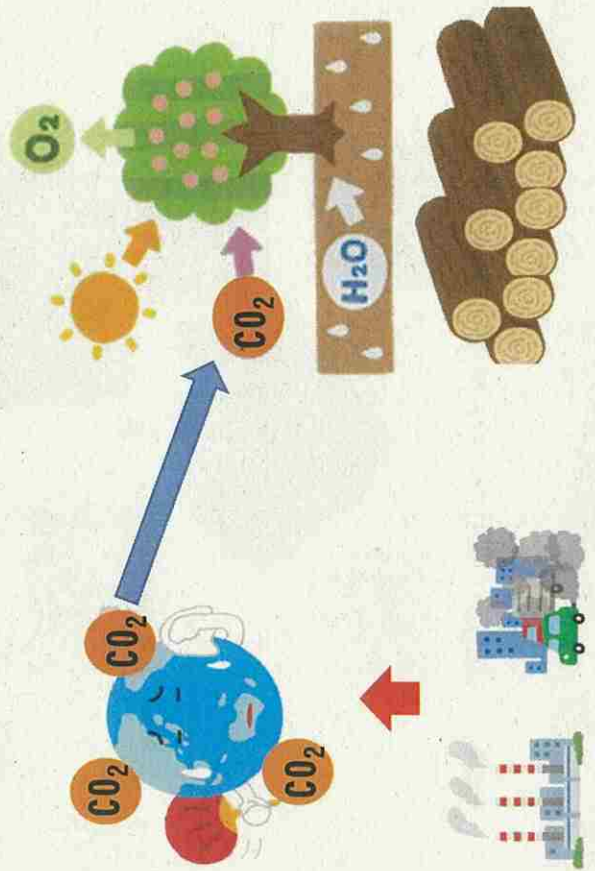
森林がある土



川の水量

時間

3.温暖化を防ぐ機能

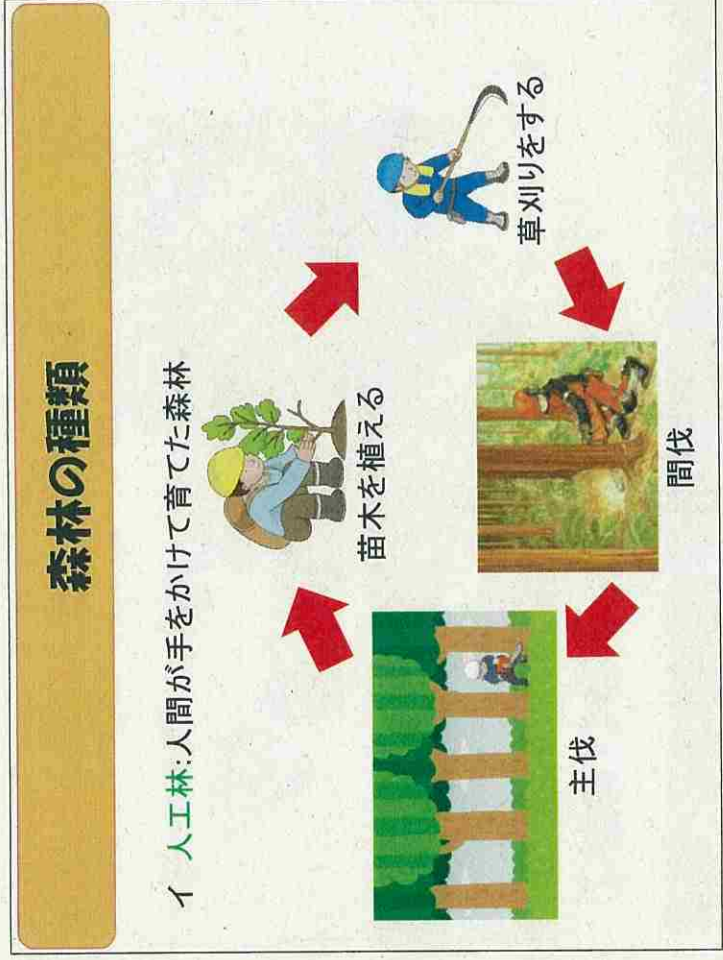
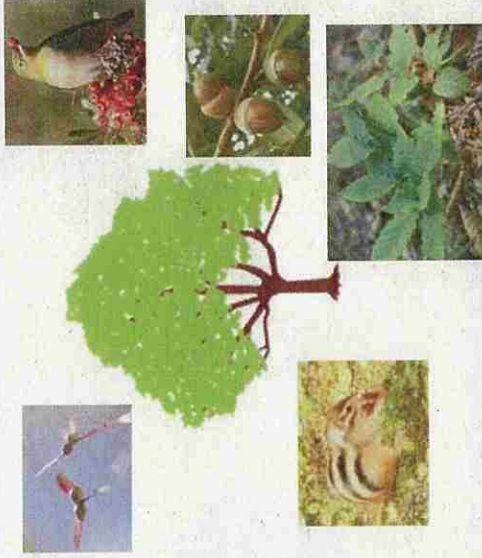




森林の整備

森林の種類

ア 天然林:人間の力を借りず、木が自分で木を増やしていく森林



森林の種類

イ 人工林:人間が手をかけて育てた森林



木を使うとどんな良いことがあるの？

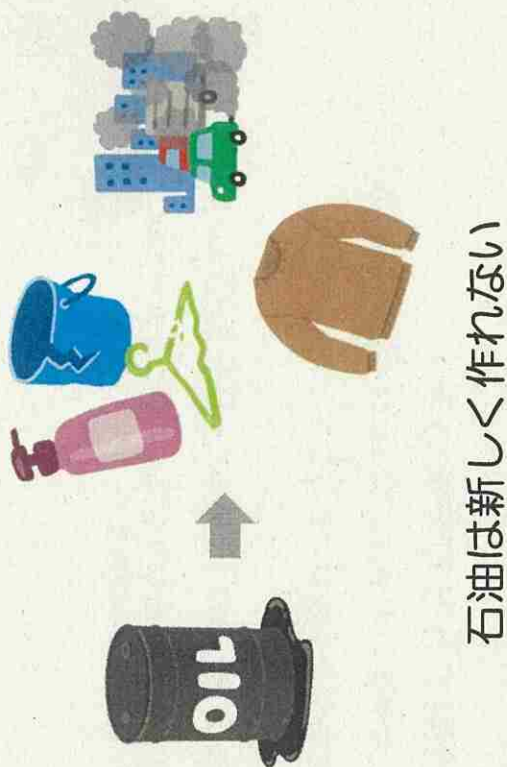
- ① 温暖化を防ぐ機能を高める
- ② 使ってもなくならない
- ③ リラックスする



①. 温暖化を防ぐ機能を高める



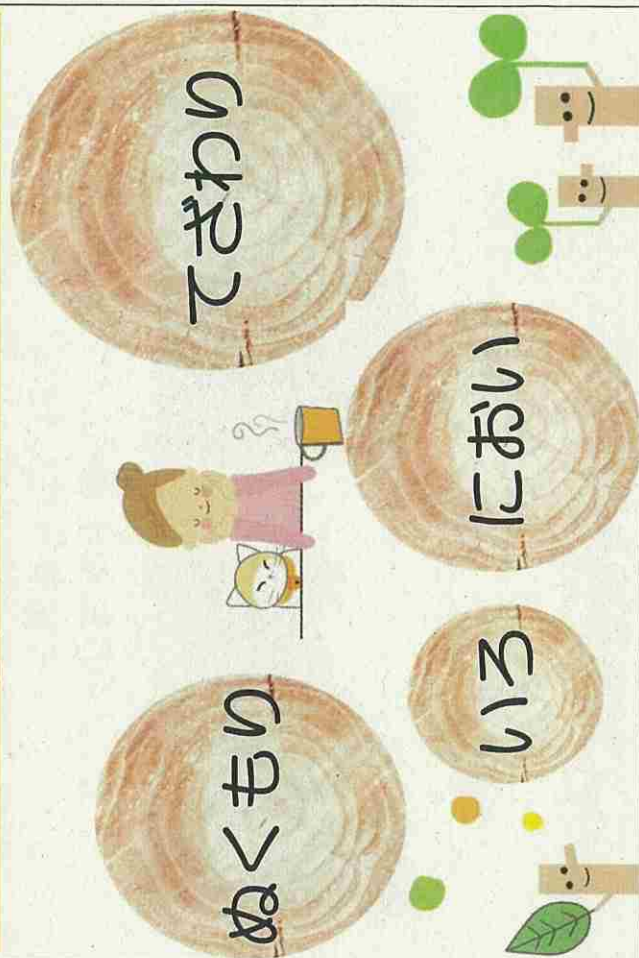
②. 使ってもなくならない



②. 使ってもなくならない



③. リラックスする



なぜ森林整備が必要なのか

水源を守り、土砂崩れなどの災害を防ぐ
海の風・塩分・砂から農作物や家等を守る
ニホンジカ等の害獣から森林を守る

人工林を天然林（広葉樹林）へもどす



人工林を天然林へもどすこととは

人工林・針葉樹
スギやカラマツ等

天然林・広葉樹
ブナ・ナラ・トチノキ等



より多くの生物が暮らしやすくなる
(生物多様性の増加)

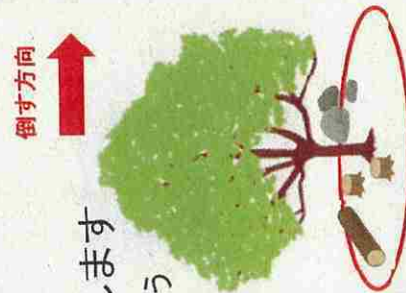
あさひ小学校5年生みなさんには天然林へもどす森林整備として、のこぎりで**スギの木を伐採（間伐）**してもらいます。



令和2年度の5年生

木のきり方

- 1 伐倒する方向を決めます
倒した木が他の木や枝に引っかからない方向に倒します
倒す木の傾きや枝の付き方も考えます
- 2 木の周りの邪魔なものを除去します
作業の邪魔になるものや歩いて引っかかりそうなものは先に取り除きます



木のきい方

3 受け口を作ります

木を倒す側に三角形のすきまを作ります

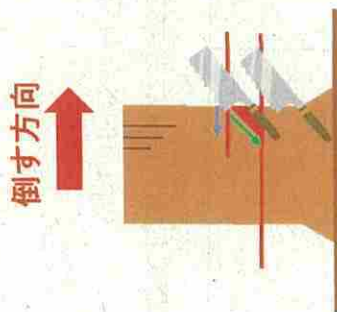
①受け口を木の根元付近にとる

②水平に切れ目を入れます

水平方向：直径の3分の1

③斜めに切れ目を入れます

斜め方向：30度から45度



木のきい方

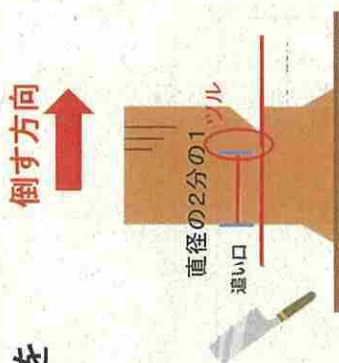
4 追い口を入れます

①高さ：受け口の高さ3分の2くらい

②水平：直径の2分の1に切れ目を入れ、ツルが残るようにします

③木が倒れそうになってきたら他の人は木の後ろに避難します

④木を押して倒します



さいごに

森林整備は大変な作業です
熱中症や脱水症状に注意しましょう

飲み物・長靴・タオル等を用意
してください

体調に気をつけて、当日を迎え
ましょう



新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート

参加者用

イベント名	朝日自然塾「カッチャバ湿原の昆虫観察 & 大井沢で一日昆虫博士」								
開催月日	令和3年6月19日(土)								
参加者	代表者電話番号								
	今朝の体温		体調は悪くありませんか？(発熱や咳、のどの痛み、だるさなど)		過去2週間以内に、新型コロナウイルス陽性と診断された方が身近にいませんか？		過去2週間以内に、地域や外国を訪問していませんか？	住所	連絡先 (電話番号)
氏名		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
1									
2									
3									
4									

※ 取得した個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外的利用は致しません。

イベント名	朝日自然塾「みんなでこうたきタロウへの道」									
開催月日	令和3年7月8日(木)									
参加者	代表者電話番号									
	今朝の体温	体調は悪くありませんか？(発熱や咳、のどの痛み、だるさなど)		過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の陽性と診断された方が身近にいませんか？		過去2週間以内に、感染拡大している地域や外国を訪問していませんか？		住所	連絡先 (電話番号)	
氏名		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ			
1										
2										
3										
4										

※ 取得した個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外的利用は致しません。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート

イベント名	朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」							
開催月日	令和3年7月22日（木・祝日）							
参加者	代表者電話番号							
	今朝の体温	体調は悪くありませんか？（発熱や咳、のどの痛み、だるさなど）		過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の陽性と診断された方が身近にいませんか？		過去2週間以内に、感染拡大している地域や外国を訪問していませんか？	住所	連絡先 (電話番号)
氏名		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
1								
2								
3								
4								

※ 取得した個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外の利用は致しません。

(別紙2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックシート 参加者用

イベント名	朝日自然塾「かんじきトレッキング&めめのでアクセサリーづくり」							
開催月日	令和3年3月6日(土)							
参加者	代表者電話番号							
	今朝の体温	体調は悪くありませんか？(発熱や咳、のどの痛み、だるさなど)		過去2週間以内に、新型コロナウイルス陽性と診断された方が身近にいませんか？		過去2週間以内に、感染拡大している地域や外国を訪問していませんか？	住所	連絡先 (電話番号)
氏名		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
1								
2								
3								
4								

※ 取得した個人情報、新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な範囲の目的のみに利用するものとし、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に定める場合を除いて、ご本人の同意なしに、利用目的外の利用は致しません。

別添 4

朝日自然塾 実施プログラム 参加者集計表

[illegible]

は、その事業活動に必要としたが、昭和度からは別集計にする。(昭和元年度は担当者の怠慢で参加者数を集計しなかった)

[illegible]

仮に二人人数とした